

平成21年度

県政世論調査

(概要版)



香川 県

はじめに

この冊子は、県政に対する県民の皆さまの意見や要望をお聴きし、今後の施策に生かすため、平成21年6～7月に実施した「県政世論調査」の結果を取りまとめたものです。

今回は、「少子化対策」、「人権問題」、「今後の行政のあり方」、「県政の重要度と満足度」について調査しました。

この調査結果を今後の県政運営に十分に活用するとともに、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

なお、このたびの調査にご協力いただきました県民の皆さまをはじめ、関係市町の皆さまに厚くお礼申し上げます。

平成21年10月

香川県知事公室長 川池 秀文

目 次

I 調査の概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査項目.....	1
3. 調査設計.....	1
4. 回収状況.....	1
5. サンプル設計.....	1
6. 報告書の見方.....	3
II 調査回答者の属性.....	5
III 調査の集計結果.....	9
1. 少子化対策について.....	9
2. 人権問題について.....	23
3. 今後の行政のあり方について.....	38
4. 県政の重要度と満足度について.....	46

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

- (1) 少子化対策について
- (2) 人権問題について
- (3) 今後の行政のあり方について
- (4) 県政の重要度と満足度について

3. 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査法 郵送法
- (6) 調査時期 平21年6月25日～7月13日

4. 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,213 (40.4%)

5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 152地点(市部:127地点、町部:25地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

〔 層 化 〕

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏 域 名	構 成 市 町
1. 高松地域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2. 東讃地域	東かがわ市・さぬき市
3. 小豆地域	土庄町・小豆島町
4. 中讃地域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5. 西讃地域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

〔 標本数の配分 〕

各層における母集団数(平成21年3月2日現在の選挙人名簿登録者数)の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

〔 抽 出 〕

- ① 第1次抽出単位となる調査地点として、平成21年3月2日現在の投票区を使用した。
- ② 調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③ 調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right]$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④ 抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤ 調査地点における対象者の抽出は、調査地点(投票区)内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥ 以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

〈 圏域別・市町規模別 標本数及び調査地点数 〉

上段：母集団数

下段：標本数、() 内は調査地点数

市町別 圏域	高松市	高松市以外の市	町	計
1. 高松地域	343,136 1,235 (62)	—	48,303 174 (9)	391,439 1,409 (71)
2. 東讃地域	—	75,885 273 (14)	—	75,885 273 (14)
3. 小豆地域	—	—	28,309 102 (6)	28,309 102 (6)
4. 中讃地域	—	166,342 599 (30)	59,087 213 (10)	225,429 812 (40)
5. 西讃地域	—	112,330 404 (21)	—	112,330 404 (21)

6. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) グラフにおける「N」は、比率算出の基数であり、その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 複数回答の設問の場合、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 調査対象者の職業別及び圏域別区分は次のとおりである。

◆職業別

農林漁業：農林漁業を営んでいる（家族従業者も含む）

商工業、サービス業、自由業など：商工業、サービス業、自由業などを営んでいる
（家族従業者も含む）

会社、商店、官公庁などに勤務：会社、商店、官公庁などに勤めている（パートも含む）

主婦・主夫：主婦・主夫（家族の中で家事が主な役割の方）

無職：無職（学生を含む）

◆圏域別

高松地域：高松市・三木町・直島町・綾川町

東讃地域：東かがわ市・さぬき市

小豆地域：土庄町・小豆島町

中讃地域：丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町

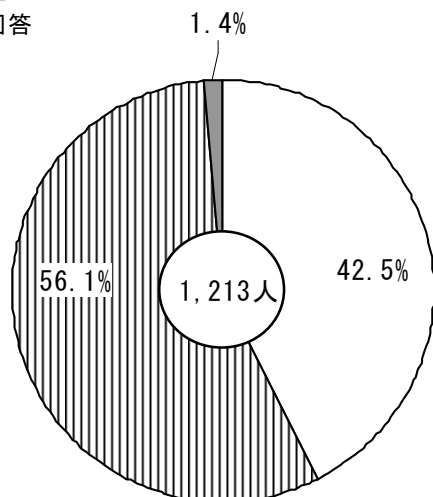
西讃地域：観音寺市・三豊市

Ⅱ 調査回答者の属性

Ⅱ 調査回答者の属性

1. 性別

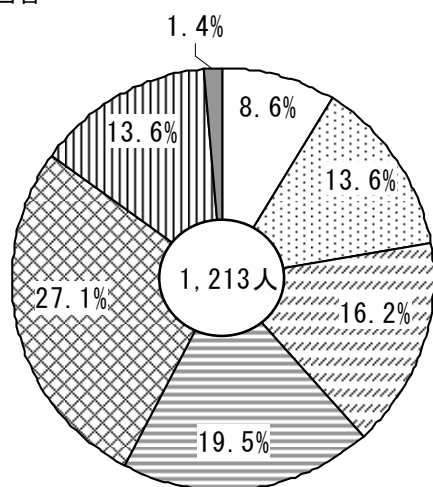
凡例
 男性
 女性
 無回答



区分	回答者数(人)	構成比 (%)
1. 男性	516	42.5
2. 女性	680	56.1
(無回答)	17	1.4
合計	1,213	100.0

2. 年齢

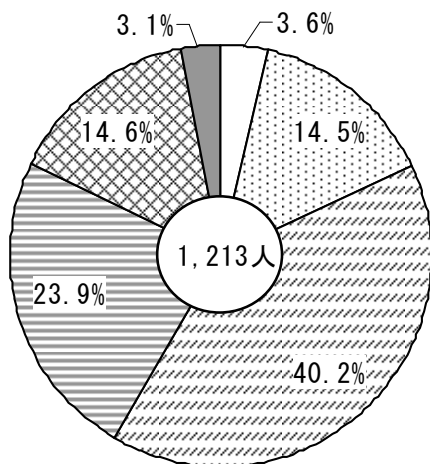
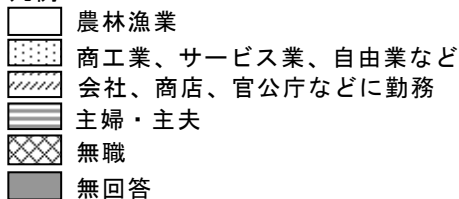
凡例
 20～29歳
 30～39歳
 40～49歳
 50～59歳
 60～69歳
 70歳以上
 無回答



区分	回答者数(人)	構成比 (%)
1. 20～29歳	104	8.6
2. 30～39歳	165	13.6
3. 40～49歳	196	16.2
4. 50～59歳	237	19.5
5. 60～69歳	329	27.1
6. 70歳以上	165	13.6
(無回答)	17	1.4
合計	1,213	100.0

3. 職業

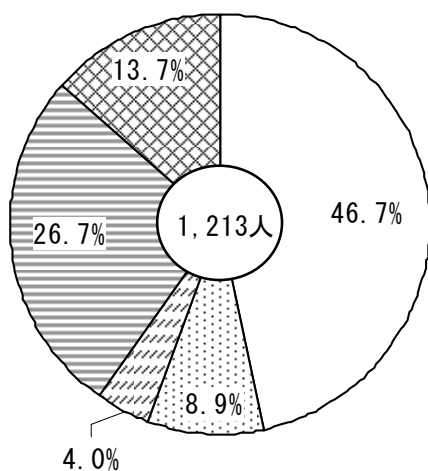
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比 (%)
1. 農林漁業	44	3.6
2. 商工業、サービス業、自由業など	176	14.5
3. 会社、商店、官公庁などに勤務	488	40.2
4. 主婦・主夫	290	23.9
5. 無職	177	14.6
(無回答)	38	3.1
合 計	1,213	100.0

4. 圏域

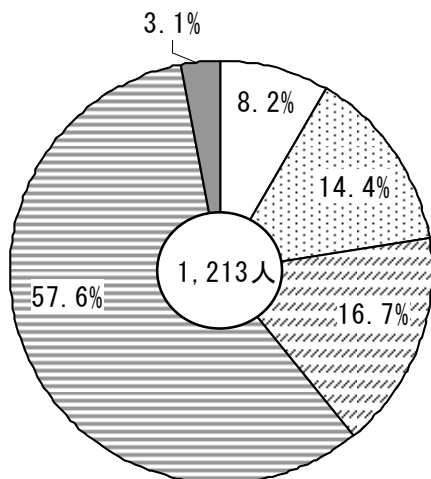
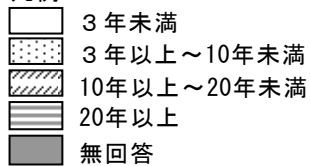
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比 (%)
1. 高松地域	566	46.7
2. 東讃地域	108	8.9
3. 小豆地域	49	4.0
4. 中讃地域	324	26.7
5. 西讃地域	166	13.7
合 計	1,213	100.0

5. 居住年数

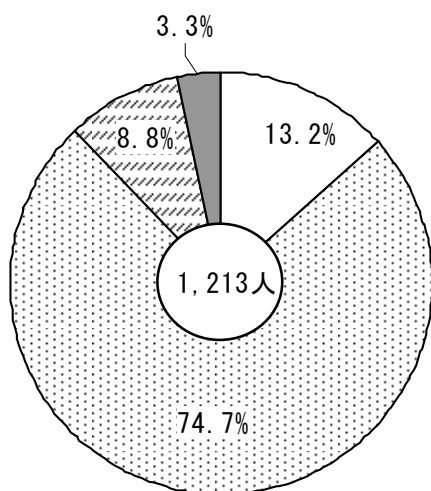
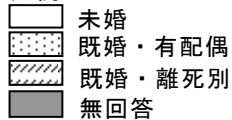
凡例



区分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 3年未満	99	8.2
2. 3年以上～10年未満	175	14.4
3. 10年以上～20年未満	203	16.7
4. 20年以上	699	57.6
(無回答)	37	3.1
合計	1,213	100.0

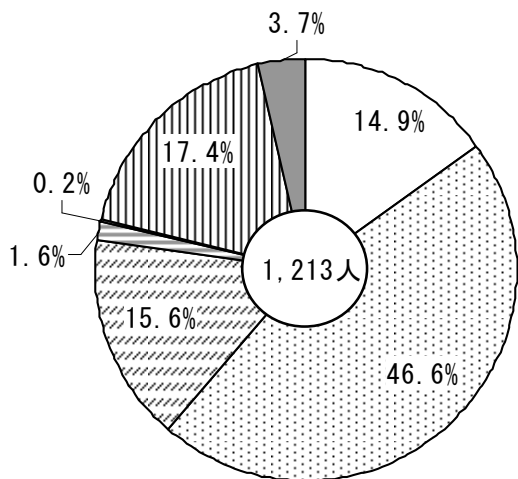
6. 未婚既婚

凡例



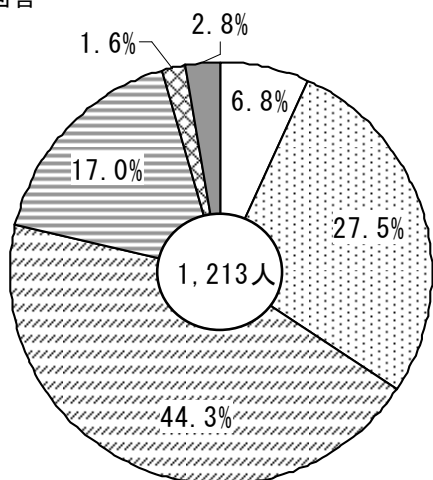
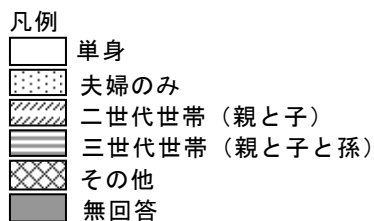
区分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 未婚	160	13.2
2. 既婚・有配偶	906	74.7
3. 既婚・離死別	107	8.8
(無回答)	40	3.3
合計	1,213	100.0

7. 子どもの人数



区分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 1人	181	14.9
2. 2人	565	46.6
3. 3人	189	15.6
4. 4人	20	1.6
5. 5人以上	2	0.2
6. いない	211	17.4
(無回答)	45	3.7
合計	1,213	100.0

8. 家族形態



区分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 单身	83	6.8
2. 夫婦のみ	334	27.5
3. 二世帯世帯(親と子)	537	44.3
4. 三世帯世帯(親と子と孫)	206	17.0
5. その他	19	1.6
(無回答)	34	2.8
合計	1,213	100.0

Ⅲ 調査の集計結果

Ⅲ 調査の集計結果

1. 少子化対策について

(1) 「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい」という考え方について

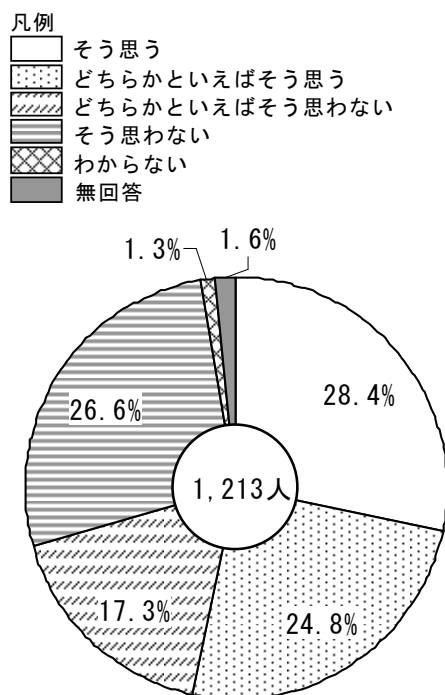
問1-① 「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

[回答者数=1,213]

1	そう思う	28.4%
2	どちらかといえばそう思う	24.8%
3	どちらかといえばそう思わない	17.3%
4	そう思わない	26.6%
5	わからない	1.3%
	(無回答)	1.6%

「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい」という考え方については、「そう思う」が28.4%で、これに「どちらかといえばそう思う」を合わせた【思う】の割合は53.2%と半数を超える。一方、「そう思わない」に「どちらかといえばそう思わない」を合わせた【思わない】は43.9%となり、【思う】が【思わない】を9.3ポイント上回っている。

〈 「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい」という考え方について 〉



(2) 「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方について

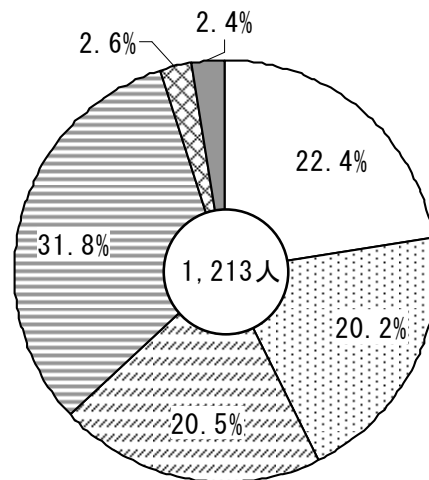
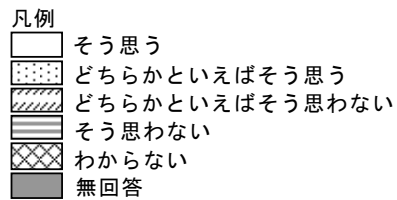
問1-② 「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

〔回答者数=1,213〕

1	そう思う	22.4%
2	どちらかといえばそう思う	20.2%
3	どちらかといえばそう思わない	20.5%
4	そう思わない	31.8%
5	わからない	2.6%
	(無回答)	2.4%

「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方については、「そう思わない」が31.8%、これに「どちらかといえばそう思わない」を合わせた【思わない】が52.3%と半数を超える。一方、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【思う】は42.6%と、【思わない】割合が【思う】よりも高くなっている。

〈 「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方について 〉



(3) 「結婚していなくても、子どもを持つのは自由である」という考え方について

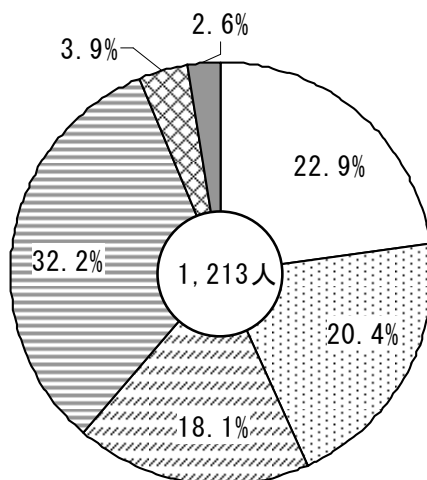
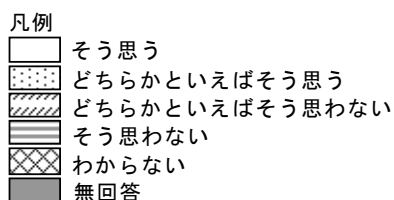
問1-③ 「結婚していなくても、子どもを持つのは自由である」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

〔回答者数=1,213〕

1 そう思う	22.9%
2 どちらかといえばそう思う	20.4%
3 どちらかといえばそう思わない	18.1%
4 そう思わない	32.2%
5 わからない	3.9%
(無回答)	2.6%

「結婚していなくても、子どもを持つのは自由である」という考え方については、「そう思わない」が32.2%と最も高く、これに「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、50.3%と半数を超える人が【思わない】と答えている。一方、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【思う】は43.3%となっている。

〈 「結婚していなくても、子どもを持つのは自由である」という考え方について 〉



(4) 「子どもよりも、まず夫婦の生活を大切にすべきだ」という考え方について

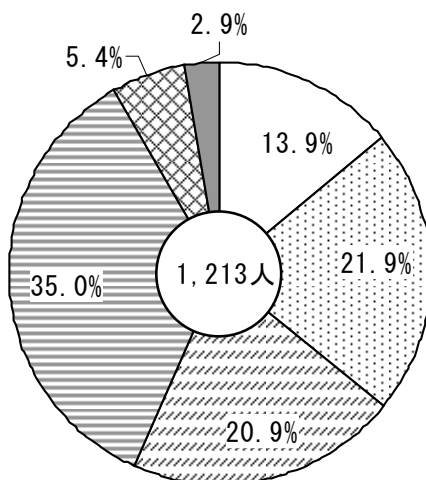
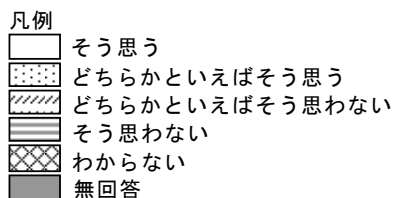
問1-④ 「子どもよりも、まず夫婦の生活を大切にすべきだ」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

〔回答者数=1,213〕

1	そう思う	13.9%
2	どちらかといえばそう思う	21.9%
3	どちらかといえばそう思わない	20.9%
4	そう思わない	35.0%
5	わからない	5.4%
	(無回答)	2.9%

「子どもよりも、まず夫婦の生活を大切にすべきだ」という考え方については、「そう思わない」が35.0%と最も高く、これに「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、【思わない】が55.9%と半数を超える。一方、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【思う】は、35.8%となっている。

〈 「子どもよりも、まず夫婦の生活を大切にすべきだ」という考え方について 〉



(5) 「男性は外で働き、女性は家庭を守るのが望ましい」という考え方について

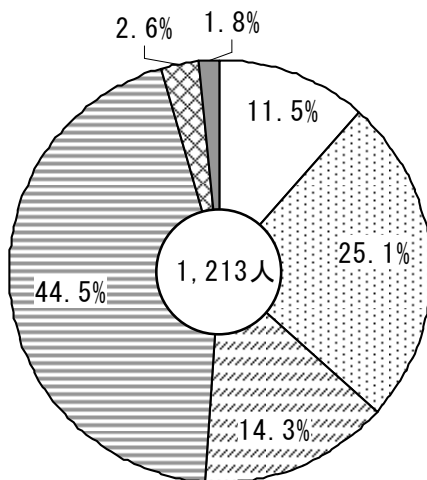
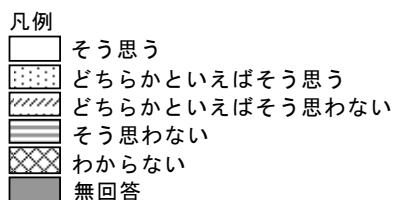
問1-⑤ 「男性は外で働き、女性は家庭を守るのが望ましい」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

〔回答者数=1,213〕

1	そう思う	11.5%
2	どちらかといえばそう思う	25.1%
3	どちらかといえばそう思わない	14.3%
4	そう思わない	44.5%
5	わからない	2.6%
	(無回答)	1.8%

「男性は外で働き、女性は家庭を守るのが望ましい」という考え方については、「そう思わない」が44.5%、これに「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、【思わない】が58.8%と6割近くを占める。一方、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【思う】は36.6%となっている。

〈 「男性は外で働き、女性は家庭を守るのが望ましい」という考え方について 〉



(6) 「家事との両立が難しければ、女性は仕事をすべきでない」という考え方について

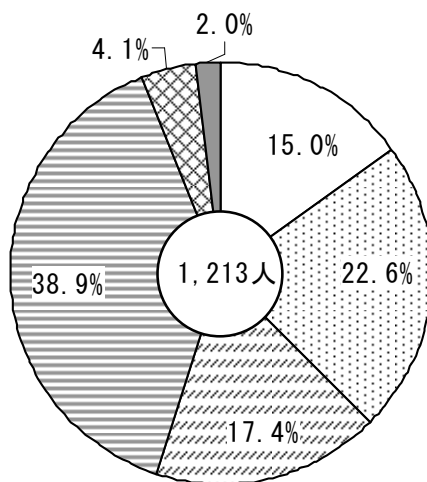
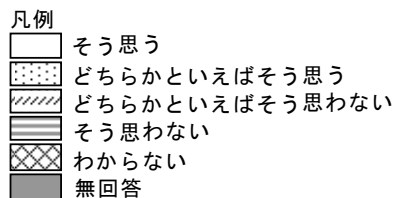
問1-⑥ 「家事との両立が難しければ、女性は仕事をすべきでない」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

〔回答者数=1,213〕

1 そう思う	15.0%
2 どちらかといえばそう思う	22.6%
3 どちらかといえばそう思わない	17.4%
4 そう思わない	38.9%
5 わからない	4.1%
(無回答)	2.0%

「家事との両立が難しければ、女性は仕事をすべきでない」という考え方については、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた【思わない】が 56.3%と半数を超え、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【思う】は 37.6%となっている。

〈 「家事との両立が難しければ、女性は仕事をすべきでない」という考え方について 〉



(7) 出生率の低下の原因

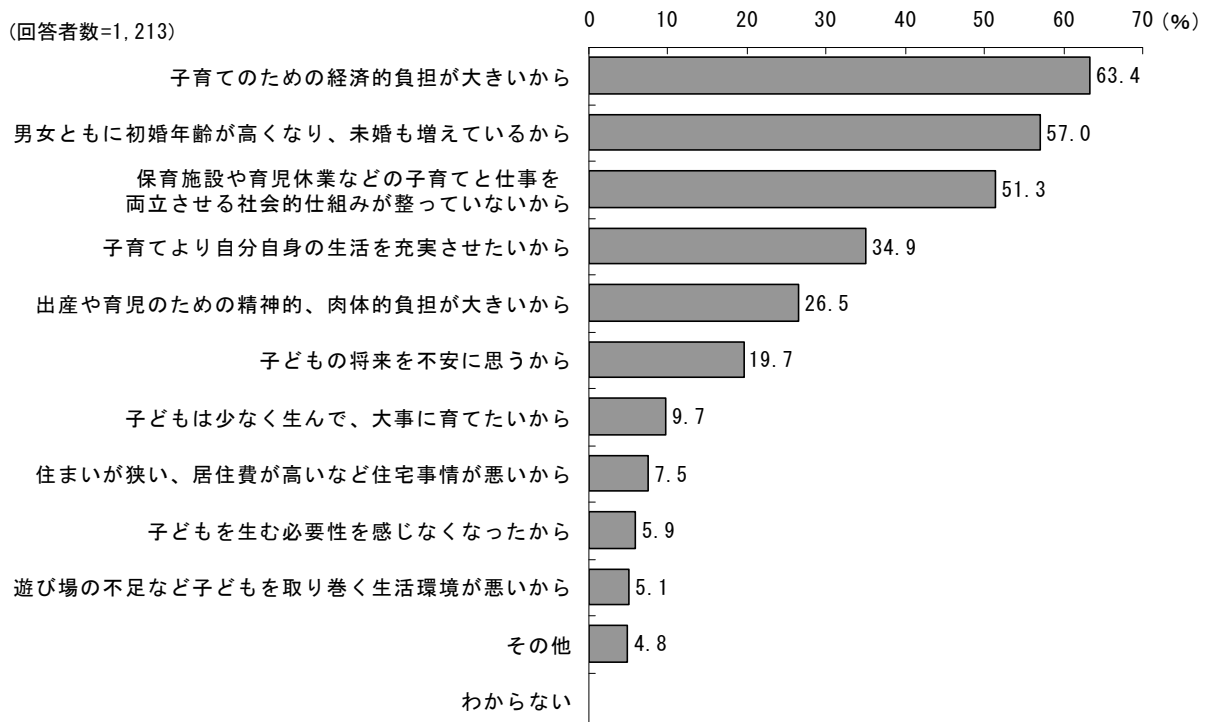
問2 長期的に出生率が低下し子どもの数が減っています。あなたは、出生率の低下の原因は何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

〔回答者数=1,213〕

1	子育てのための経済的負担が大きいから	63.4%
2	男女ともに初婚年齢が高くなり、未婚も増えているから	57.0%
3	保育施設や育児休業などの子育てと仕事を両立させる社会的仕組みが整っていないから	51.3%
4	子育てより自分自身の生活を充実させたいから	34.9%
5	出産や育児のための精神的、肉体的負担が大きいから	26.5%
6	子どもの将来を不安に思うから	19.7%
7	子どもは少なく生んで、大事に育てたいから	9.7%
8	住まいが狭い、居住費が高いなど住宅事情が悪いから	7.5%
9	子どもを生む必要性を感じなくなったから	5.9%
10	遊び場の不足など子どもを取り巻く生活環境が悪いから	5.1%
11	その他	4.8%
12	わからない	0.0%

出生率の低下の原因については、「子育てのための経済的負担が大きいから」が63.4%と6割を超え最も高く、これに「男女ともに初婚年齢が高くなり、未婚も増えているから」が57.0%、「保育施設や育児休業などの子育てと仕事を両立させる社会的仕組みが整っていないから」が51.3%、「子育てより自分自身の生活を充実させたいから」が34.9%、「出産や育児のための精神的、肉体的負担が大きいから」が26.5%で続いている。

〈 出生率の低下の原因 〉



(8) 子育て支援施策について、最も重要と思う施策、もっと充実してほしいと思う施策

問3 以下の具体的な子育て支援施策について、あなたが、(1)最も重要と思う施策、(2)もっと充実してほしいと思う施策を、次の中からそれぞれ3つずつ選んでください。

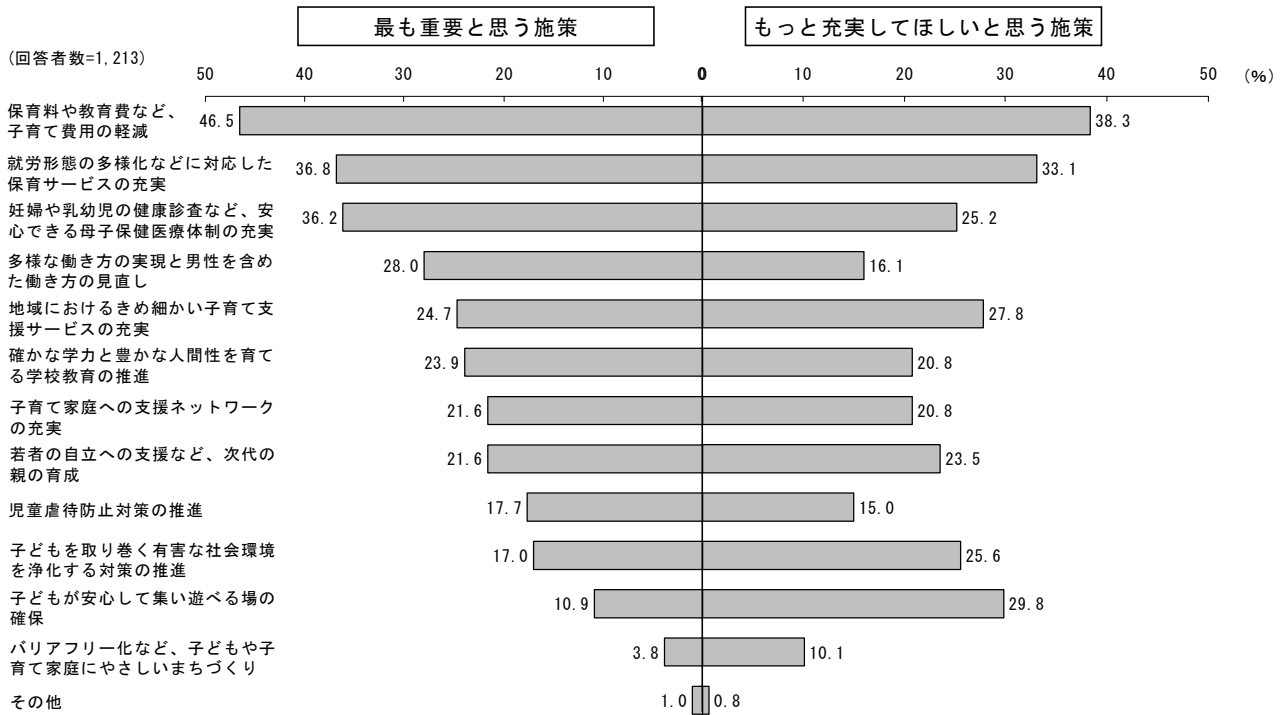
[回答者数=1,213]

	最も重要と思う施策	もっと充実してほしいと思う施策
保育料や教育費など、子育て費用の軽減	46.5	38.3
就労形態の多様化などに対応した保育サービスの充実	36.8	33.1
妊婦や乳幼児の健康診査など、安心できる母子保健医療体制の充実	36.2	25.2
多様な働き方の実現と男性を含めた働き方の見直し	28.0	16.1
地域におけるきめ細かい子育て支援サービスの充実	24.7	27.8
確かな学力と豊かな人間性を育てる学校教育の推進	23.9	20.8
子育て家庭への支援ネットワークの充実	21.6	20.8
若者の自立への支援など、次代の親の育成	21.6	23.5
児童虐待防止対策の推進	17.7	15.0
子どもを取り巻く有害な社会環境を浄化する対策の推進	17.0	25.6
子どもが安心して集い遊べる場の確保	10.9	29.8
バリアフリー化など、子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり	3.8	10.1
その他	1.0	0.8

子育て支援施策について、最も重要と思う施策をみると、「保育料や教育費など、子育て費用の軽減」が46.5%と最も高く、次いで「就労形態の多様化などに対応した保育サービスの充実」が36.8%、「妊婦や乳幼児の健康診査など、安心できる母子保健医療体制の充実」が36.2%、「多様な働き方の実現と男性を含めた働き方の見直し」が28.0%、「地域におけるきめ細かい子育て支援サービスの充実」が24.7%などとなっている。

子育て支援施策について、もっと充実してほしいと思う施策をみると、最も重要と思う施策と同様、「保育料や教育費など、子育て費用の軽減」(38.3%)が最も高く、2番目は「就労形態の多様化などに対応した保育サービスの充実」(33.1%)となっている。そのほか、「子どもが安心して集い遊べる場の確保」が29.8%、「地域におけるきめ細かい子育て支援サービスの充実」が27.8%、「子どもを取り巻く有害な社会環境を浄化する対策の推進」が25.6%などとなっている。

〈 子育て支援施策について、最も重要と思う施策、もっと充実してほしいと思う施策 〉



(9) 地域全体で子育て支援をしていくにあたって、地域に期待すること

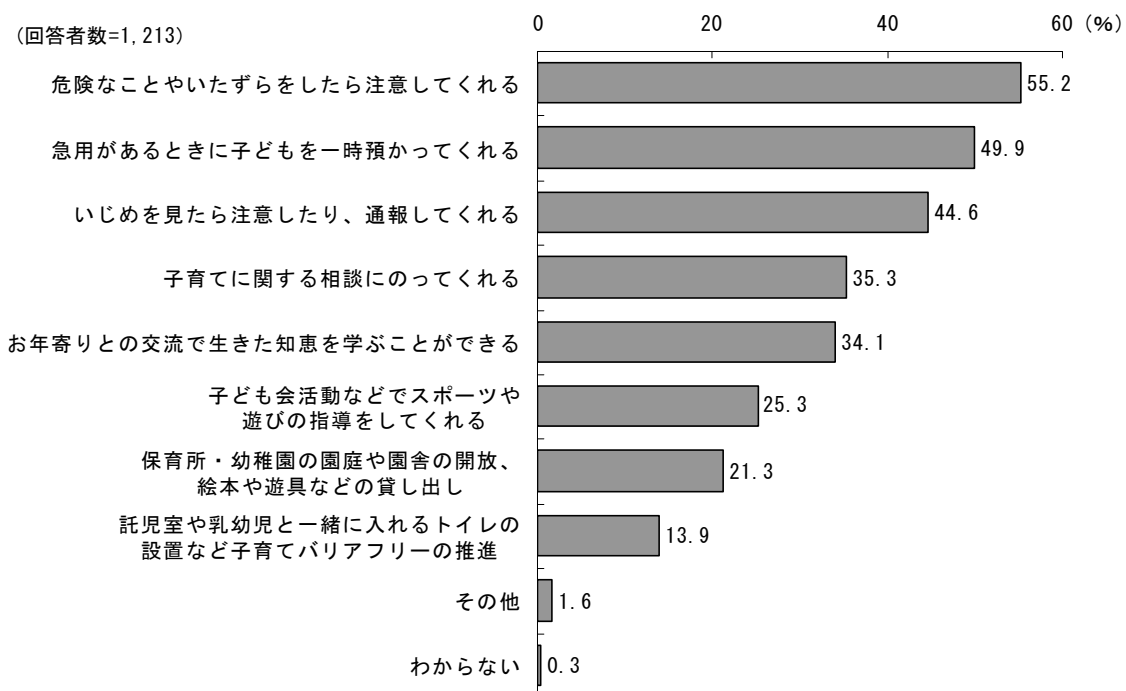
問4 あなたは、地域全体で子育て支援をしていくにあたって、地域にどのようなことを期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

[回答者数=1,213]

1	危険なことやいたずらをしたら注意してくれる	55.2%
2	急用があるときに子どもを一時預かってくれる	49.9%
3	いじめを見たら注意したり、通報してくれる	44.6%
4	子育てに関する相談にのってくれる	35.3%
5	お年寄りとの交流で生きた知恵を学ぶことができる	34.1%
6	子ども会活動などでスポーツや遊びの指導をしてくれる	25.3%
7	保育所・幼稚園の園庭や園舎の開放、絵本や遊具などの貸し出し	21.3%
8	託児室や乳幼児と一緒に入れるトイレの設置など子育てバリアフリーの推進	13.9%
9	その他	1.6%
10	わからない	0.3%

地域全体で子育て支援をしていくにあたって、地域に期待することについては、「危険なことやいたずらをしたら注意してくれる」が最も高く、55.2%と半数を超えている。これに「急用があるときに子どもを一時預かってくれる」が49.9%、「いじめを見たら注意したり、通報してくれる」が44.6%、「子育てに関する相談にのってくれる」が35.3%、「お年寄りとの交流で生きた知恵を学ぶことができる」が34.1%で続いている。

〈 地域全体で子育て支援をしていくにあたって、地域に期待すること 〉



(10) 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、希望に最も近いもの、現実(現状)に最も近いもの

問5 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、(1)あなたの希望に最も近いもの、(2)あなたの現実(現状)に最も近いものを、次の中からそれぞれ1つ選んでください。

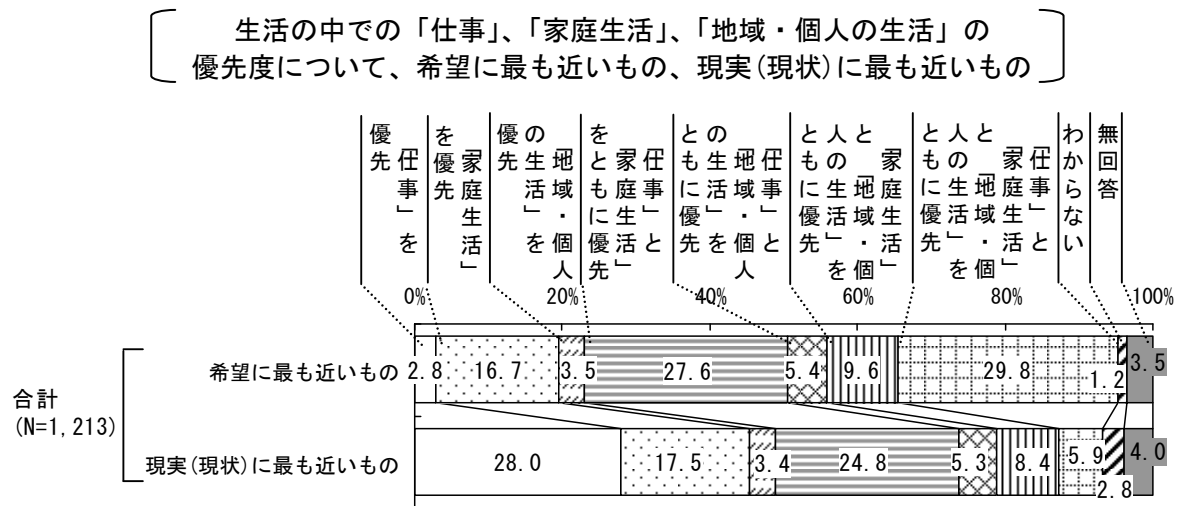
[回答者数=1,213]

	希望に最も近いもの	現実(現状)に最も近いもの
「仕事」を優先	2.8	28.0
「家庭生活」を優先	16.7	17.5
「地域・個人の生活」を優先	3.5	3.4
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	27.6	24.8
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	5.4	5.3
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	9.6	8.4
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	29.8	5.9
わからない	1.2	2.8
無回答	3.5	4.0

※仕事：自営業主(農林漁業を含む)、常勤、パート、アルバイト、嘱託など就業形態は問わない
 ※家庭生活：家族と過ごすこと、家事(食事の支度・片付け、掃除、洗濯、育児)、介護・看護など
 ※地域・個人の生活：地域活動、社会参加、自己啓発、趣味・娯楽、つきあいなど

生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、希望に最も近いものをみると、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」が29.8%と3割近くを占め最も高く、次いで「仕事と家庭生活をともに優先」が27.6%、「家庭生活を優先」が16.7%などとなっている。

現実(現状)に最も近いものをみると、「仕事を優先」が28.0%と3割近くを占め最も高く、次いで、「仕事と家庭生活をともに優先」が24.8%、「家庭生活を優先」が17.5%などとなっている。希望に最も近いもので最も割合が高かった「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先」は、現実(現状)に最も近いものでは5.9%と1割に満たない。



(11) 育児をしながら働き続けるために必要と思う条件や制度

問6 あなたは、育児をしながら働き続けるためには、どのような条件や制度が必要と思いますか。次の中から3つまで選んでください。

[回答者数=1,213]

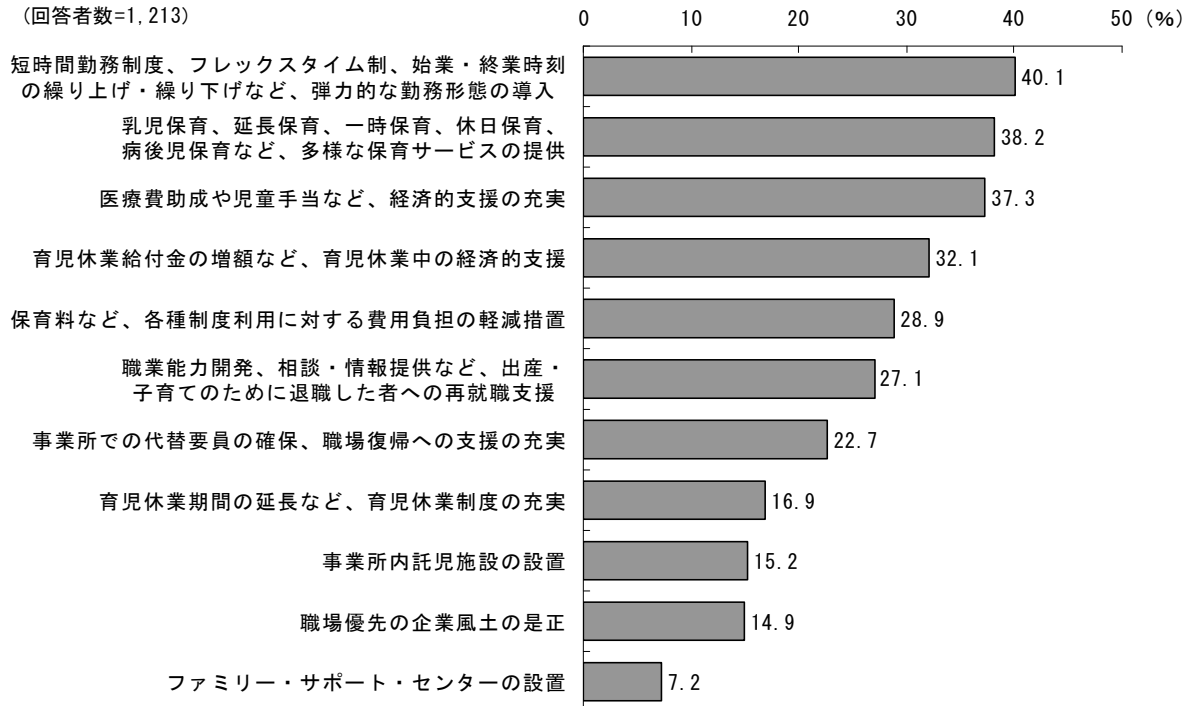
- | | |
|---|-------|
| 1 短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げなど、弾力的な勤務形態の導入 | 40.1% |
| 2 乳児保育、延長保育、一時保育、休日保育、病後児保育など、多様な保育サービスの提供 | 38.2% |
| 3 医療費助成や児童手当など、経済的支援の充実 | 37.3% |
| 4 育児休業給付金の増額など、育児休業中の経済的支援 | 32.1% |
| 5 保育料など、各種制度利用に対する費用負担の軽減措置 | 28.9% |
| 6 職業能力開発、相談・情報提供など、出産・子育てのために退職した者への再就職支援 | 27.1% |
| 7 事業所での代替要員の確保、職場復帰への支援の充実 | 22.7% |
| 8 育児休業期間の延長など、育児休業制度の充実 | 16.9% |
| 9 事業所内託児施設の設置 | 15.2% |
| 10 職場優先の企業風土の是正 | 14.9% |
| 11 ファミリー・サポート・センターの設置 | 7.2% |

※フレックスタイム制：1か月以内の一定期間における総労働時間をあらかじめ定めておき、労働者はその枠内で各日の始業及び終業の時刻を自主的に決定し働く制度で、労働者がその生活と業務の調和を図りながら、効率的に働くことができ、労働時間を短縮しようとするもの。

※ファミリー・サポート・センター：育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者からなる会員組織で、会員同士による育児に関する相互援助活動の調整などの業務を行い、仕事と家庭の両立を支援する。

育児をしながら働き続けるために必要と思う条件や制度については、「短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げなど、弾力的な勤務形態の導入」が40.1%と最も高く、これに「乳児保育、延長保育、一時保育、休日保育、病後児保育など、多様な保育サービスの提供」が38.2%、「医療費助成や児童手当など、経済的支援の充実」が37.3%、「育児休業給付金の増額など、育児休業中の経済的支援」が32.1%で続いている。

〈 育児をしながら働き続けるために必要と思う条件や制度 〉



(12) 子どもを生みたい人が安心して生み育てることができる環境づくりのために重要だと思うこと

問7 子どもを生みたい人が安心して生み育てることができる環境づくりのために、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。ご自由にお書きください。

〔回答者数=712〕

1	保育料や教育費など子育て費用の軽減、医療費助成、経済的支援	257
2	多様な保育サービスや放課後児童クラブの充実	147
3	育児休業制度の充実、再就職や職場復帰への支援の充実、職場の理解	137
4	子育て支援ネットワークの充実、相談・援助体制の充実	78
5	家族等の協力	59
6	産婦人科、小児科等医療体制の充実	55
7	安定した雇用	48
8	子どもが安心して集い遊べる場の確保	24
9	親の教育	14
10	子育て支援拠点の設置や環境づくり	7
11	教育の充実、教育制度の見直し	6
12	住居費支援や住居の確保	3

子どもを生みたい人が安心して生み育てることができる環境づくりのために重要だと思うことについて、記入した人は712人で、この調査の回答者総数（1,213人）の58.7%に当たる。記入内容が同様ないしは類似のものを区分し整理すると、上の枠内に表示したようになる。

2. 人権問題について

(1) 人権にかかわる法律、条例、計画、啓発行事のうち、知っている項目

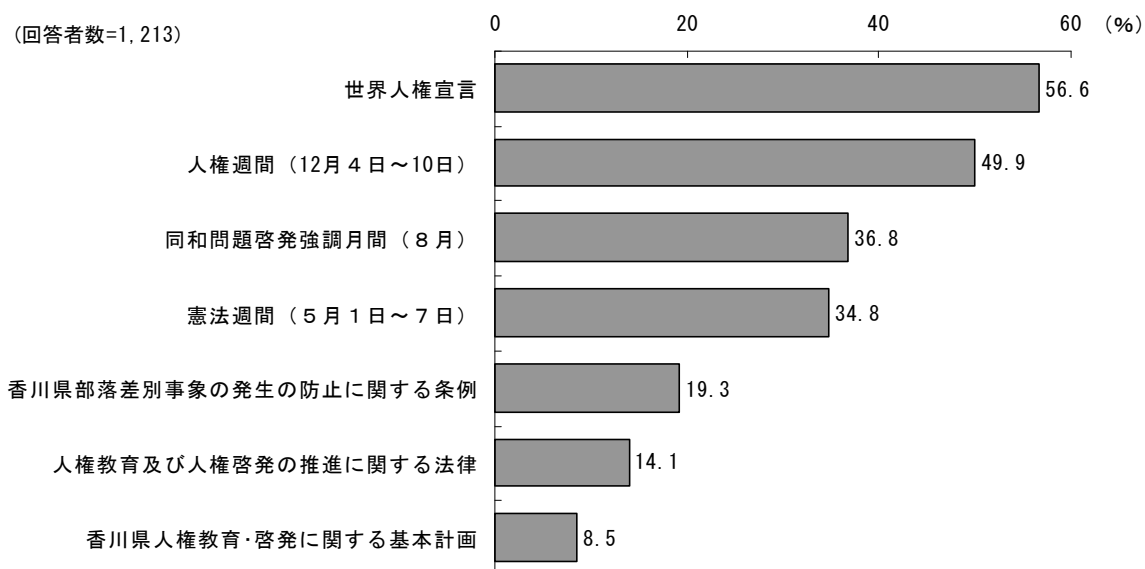
問8 人権にかかわる法律、条例、計画、啓発行事のうち、あなたが知っているのは、次のうち、どの項目でしょうか。該当するものをいくつでも選んでください。

〔回答者数=1,213〕

1	世界人権宣言	56.6%
2	人権週間（12月4日～10日）	49.9%
3	同和問題啓発強調月間（8月）	36.8%
4	憲法週間（5月1日～7日）	34.8%
5	香川県部落差別事象の発生の防止に関する条例	19.3%
6	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	14.1%
7	香川県人権教育・啓発に関する基本計画	8.5%

人権にかかわる法律、条例、計画、啓発行事のうち、知っている項目については、「世界人権宣言」が56.6%と半数を超え最も高く、次いで、「人権週間（12月4日～10日）」が49.9%、「同和問題啓発強調月間（8月）」が36.8%、「憲法週間（5月1日～7日）」が34.8%などとなっている。

〈 人権にかかわる法律、条例、計画、啓発行事のうち、知っている項目 〉



(2) 日本における人権課題について、関心があるもの

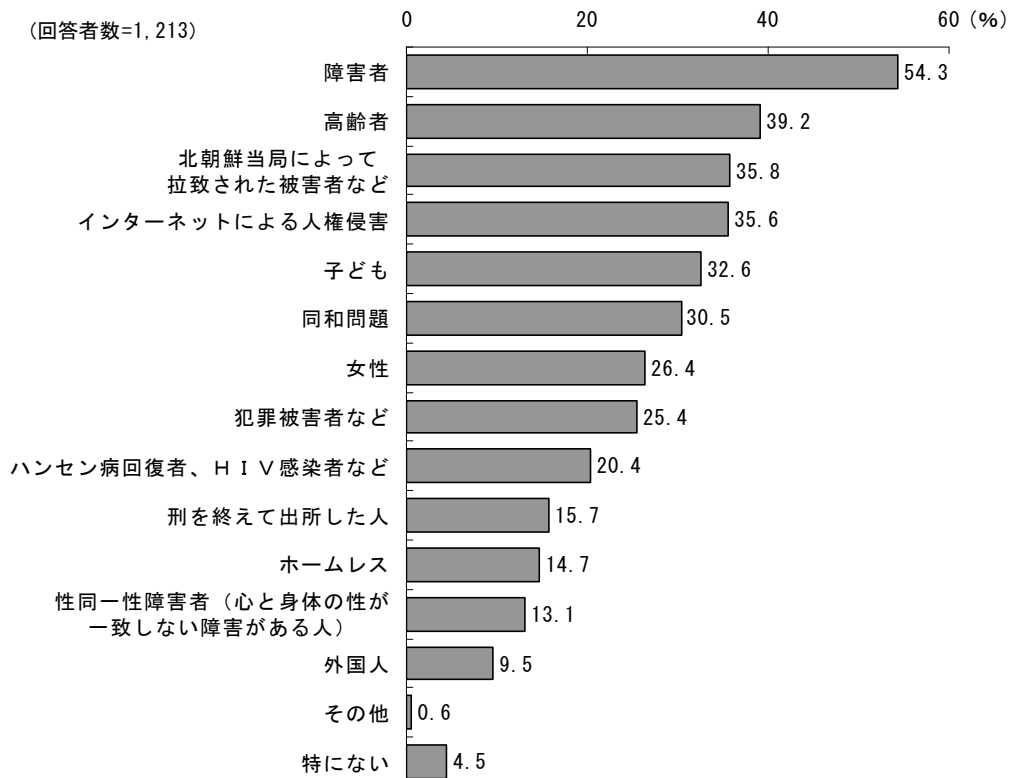
問9 日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。次の中からいくつでも選んでください。

〔回答者数=1,213〕

1 障害者	54.3%
2 高齢者	39.2%
3 北朝鮮当局によって拉致された被害者など	35.8%
4 インターネットによる人権侵害	35.6%
5 子ども	32.6%
6 同和問題	30.5%
7 女性	26.4%
8 犯罪被害者など	25.4%
9 ハンセン病回復者、H I V感染者など	20.4%
10 刑を終えて出所した人	15.7%
11 ホームレス	14.7%
12 性同一性障害者（心と身体の性が一致しない障害がある人）	13.1%
13 外国人	9.5%
14 その他	0.6%
15 特にない	4.5%

日本における人権課題について、関心があるものは、「障害者」が 54.3%と半数を超え最も高く、これに「高齢者」が 39.2%、「北朝鮮当局によって拉致された被害者など」が 35.8%、「インターネットによる人権侵害」が 35.6%、「子ども」が 32.6%、「同和問題」が 30.5%と 3 割台で続いている。

〈 日本における人権課題について、関心があるもの 〉



(3) 今の日本が人権の尊重されている社会であるかについて

問 10 あなたは、今の日本が人権の尊重されている社会であると思いますか。

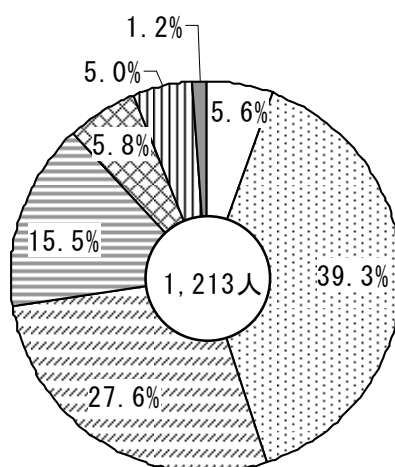
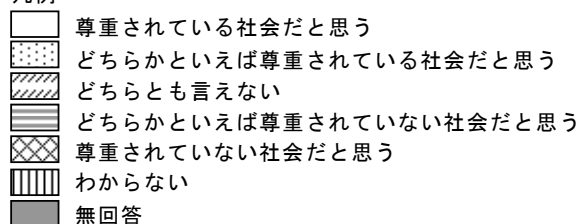
〔回答者数=1,213〕

1 尊重されている社会だと思う	5.6%
2 どちらかといえば尊重されている社会だと思う	39.3%
3 どちらとも言えない	27.6%
4 どちらかといえば尊重されていない社会だと思う	15.5%
5 尊重されていない社会だと思う	5.8%
6 わからない	5.0%
(無回答)	1.2%

今の日本が人権の尊重されている社会であるかについては、「尊重されている社会だと思う」は5.6%と1割に満たないが、これに「どちらかといえば尊重されている社会だと思う」を合わせると、【尊重されている】が44.9%と4割を超える。一方、「尊重されていない社会だと思う」(5.8%)と「どちらかといえば尊重されていない社会だと思う」(15.5%)を合わせた【尊重されていない】は2割強となっている。

〈 今の日本が人権の尊重されている社会であるかについて 〉

凡例



(4) この5～6年間の日本での人権侵害について

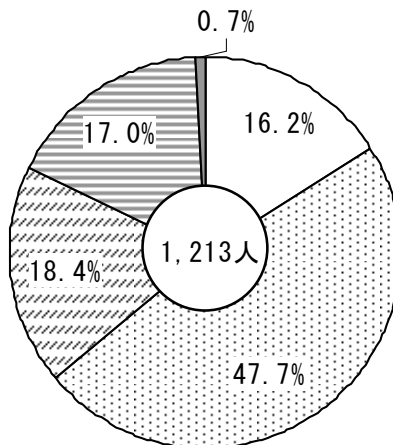
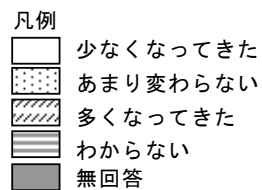
問 11 あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,213〕

1 少なくなってきた	16.2%
2 あまり変わらない	47.7%
3 多くなってきた	18.4%
4 わからない	17.0%
(無回答)	0.7%

この5～6年間の日本での人権侵害については、47.7%と4割を超える人が「あまり変わらない」としており、「少なくなってきた」は16.2%、「多くなってきた」は18.4%となっている。

〈 この5～6年間の日本での人権侵害について 〉



(5) 今までに人権を侵害されたと思ったことの有無

問 12 あなた、または、あなたの家族が、今までに人権を侵害されたと思ったことがありますか。

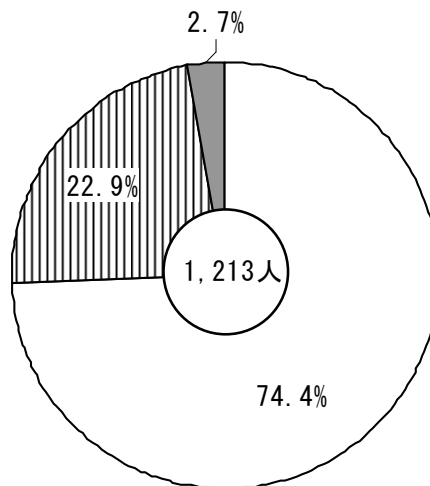
〔回答者数=1,213〕

1 ない	74.4%
2 ある	22.9%
(無回答)	2.7%

今までに人権を侵害されたと思ったことの有無については、「ない」が74.4%と7割を超え、「ある」は22.9%と2割強となっている。

〈 今までに人権を侵害されたと思ったことの有無 〉

凡例
□ ない
▨ ある
■ 無回答



(6) どのようなことで人権が侵害されたと思われたかについて

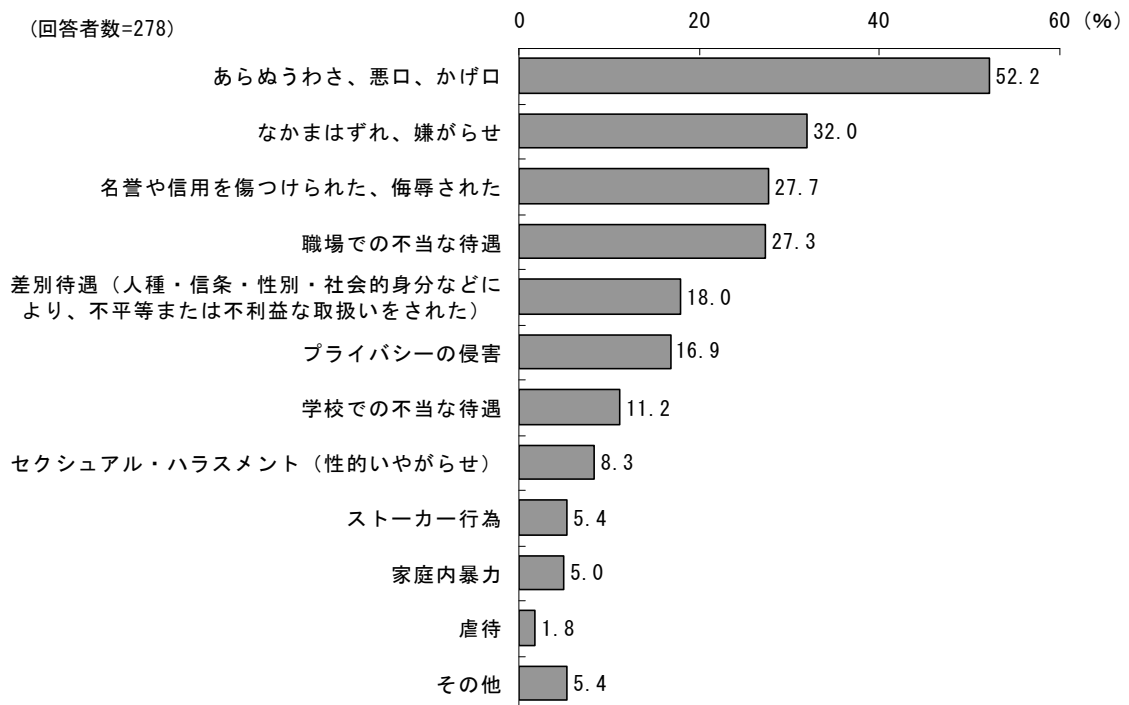
問 12 付問 1 あなた、または、あなたの家族は、どのようなことで人権が侵害されたと思われましたか。次の中からいくつでも選んでください。

[回答者数=278]

1	あらぬうわさ、悪口、かげ口	52.2%
2	なかまはずれ、嫌がらせ	32.0%
3	名誉や信用を傷つけられた、侮辱された	27.7%
4	職場での不当な待遇	27.3%
5	差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分などにより、不平等または不利益な取扱いをされた）	18.0%
6	プライバシーの侵害	16.9%
7	学校での不当な待遇	11.2%
8	セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）	8.3%
9	ストーカー行為	5.4%
10	家庭内暴力	5.0%
11	虐待	1.8%
12	その他	5.4%

今までに人権を侵害されたと思ったことがある人が、どのようなことで人権が侵害されたと思われたかについては、「あらぬうわさ、悪口、かげ口」が 52.2%と半数を超え最も高く、次いで、「なかまはずれ、嫌がらせ」が 32.0%、「名誉や信用を傷つけられた、侮辱された」が 27.7%、「職場での不当な待遇」が 27.3%、「差別待遇（人種・信条・性別・社会的身分などにより、不平等または不利益な取扱いをされた）」が 18.0%などとなっている。

〈 どのようなことで人権が侵害されたと思われたかについて 〉



(7) 人権侵害があった時の対応

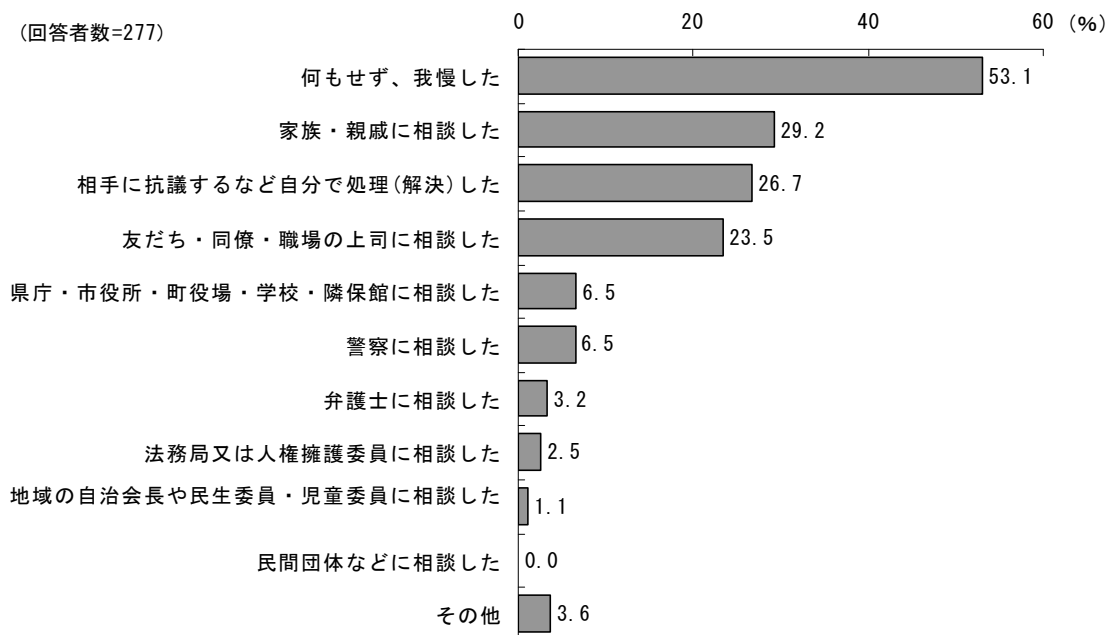
問 12 付問 2 問 12 付問 1 で選んだ人権侵害があった時、どのような対応をされましたか。
 主なものを次の中から3つまで選んでください。

[回答者数=277]

1	何もせず、我慢した	53.1%
2	家族・親戚に相談した	29.2%
3	相手に抗議するなど自分で処理(解決)した	26.7%
4	友だち・同僚・職場の上司に相談した	23.5%
5	県庁・市役所・町役場・学校・隣保館に相談した	6.5%
6	警察に相談した	6.5%
7	弁護士に相談した	3.2%
8	法務局又は人権擁護委員に相談した	2.5%
9	地域の自治会長や民生委員・児童委員に相談した	1.1%
10	民間団体などに相談した	0.0%
11	その他	3.6%

人権侵害があった時の対応については、「何もせず、我慢した」が 53.1%と半数を超え最も高く、これに「家族・親戚に相談した」が 29.2%、「相手に抗議するなど自分で処理(解決)した」が 26.7%、「友だち・同僚・職場の上司に相談した」が 23.5%と2割台で続いており、「県庁・市役所・町役場・学校・隣保館に相談した」、「警察に相談した」、「法務局又は人権擁護委員に相談した」などの公共機関への相談は1割未満となっている。

〈 人権侵害があった時の対応 〉



(8) 職場や地域などで、人権侵害と思われる差別的な言葉や動作を見聞きしたときの対応

問 13 もし職場や地域などで、人権侵害と思われる差別的な言葉や動作を見聞きしたとき、あなたは、どのようにすると思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

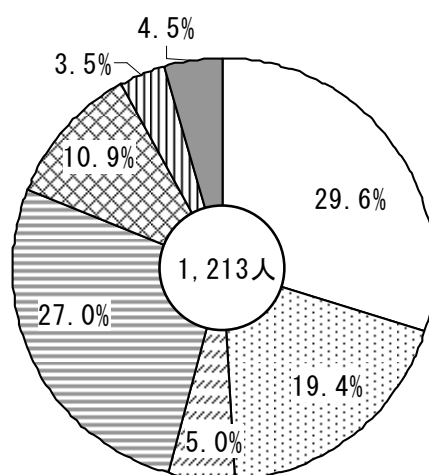
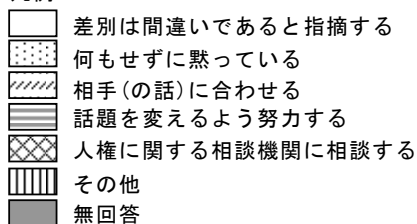
[回答者数=1,213]

1 差別は間違いであると指摘する	29.6%
2 何もせずに黙っている	19.4%
3 相手(の話)に合わせる	5.0%
4 話題を変えるよう努力する	27.0%
5 人権に関する相談機関に相談する	10.9%
6 その他	3.5%
(無回答)	4.5%

職場や地域などで、人権侵害と思われる差別的な言葉や動作を見聞きしたときの対応については、「差別は間違いであると指摘する」が29.6%と3割近くを占め、「話題を変えるよう努力する」が27.0%、「何もせずに黙っている」が19.4%、「人権に関する相談機関に相談する」が10.9%などとなっている。

〈 職場や地域などで、人権侵害と思われる差別的な言葉や動作を見聞きしたときの対応 〉

凡例



(9) 日本の社会に「同和問題」、「部落差別」などといわれる問題があることについて

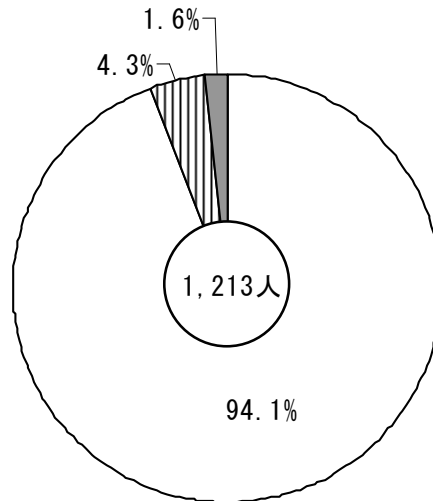
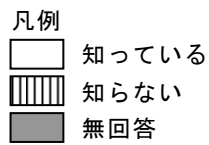
問 14 多くの人権課題がある中で、日本の社会に「同和問題」、「部落差別」などといわれる問題があることを知っていますか。

〔回答者数=1,213〕

1 知っている	94.1%
2 知らない	4.3%
(無回答)	1.6%

日本の社会に「同和問題」、「部落差別」などといわれる問題があることについて、「知っている」は94.1%と9割を超え、「知らない」は4.3%と1割未満となっている。

〈 日本の社会に「同和問題」、「部落差別」などといわれる問題があることについて 〉



(10) 同和問題を知ったきっかけ

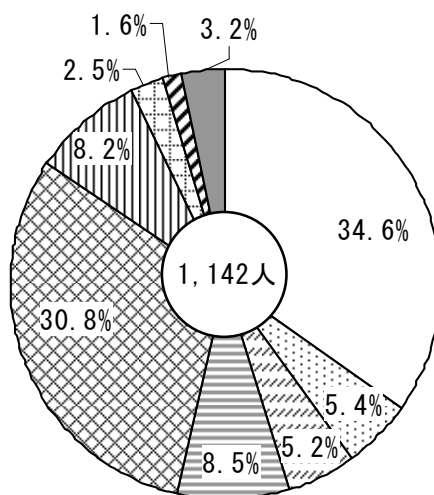
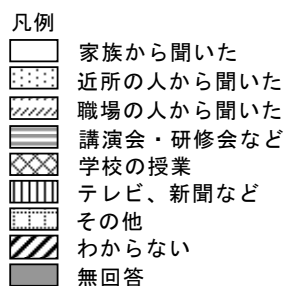
問 14 付問 1 同和問題について、あなたが初めて知ったきっかけは何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

〔回答者数=1,142〕

1 家族から聞いた	34.6%
2 近所の人から聞いた	5.4%
3 職場の人から聞いた	5.2%
4 講演会・研修会など	8.5%
5 学校の授業	30.8%
6 テレビ、新聞など	8.2%
7 その他	2.5%
8 わからない	1.6%
(無回答)	3.2%

同和問題を知ったきっかけについては、34.6%と3割を超える人が「家族から聞いた」としており、「学校の授業」と回答した人も30.8%と3割を超えている。そのほか、「講演会・研修会など」が8.5%、「テレビ、新聞など」が8.2%などとなっている。

〈 同和問題を知ったきっかけ 〉



(11) これまでに見聞きした同和問題に関する差別

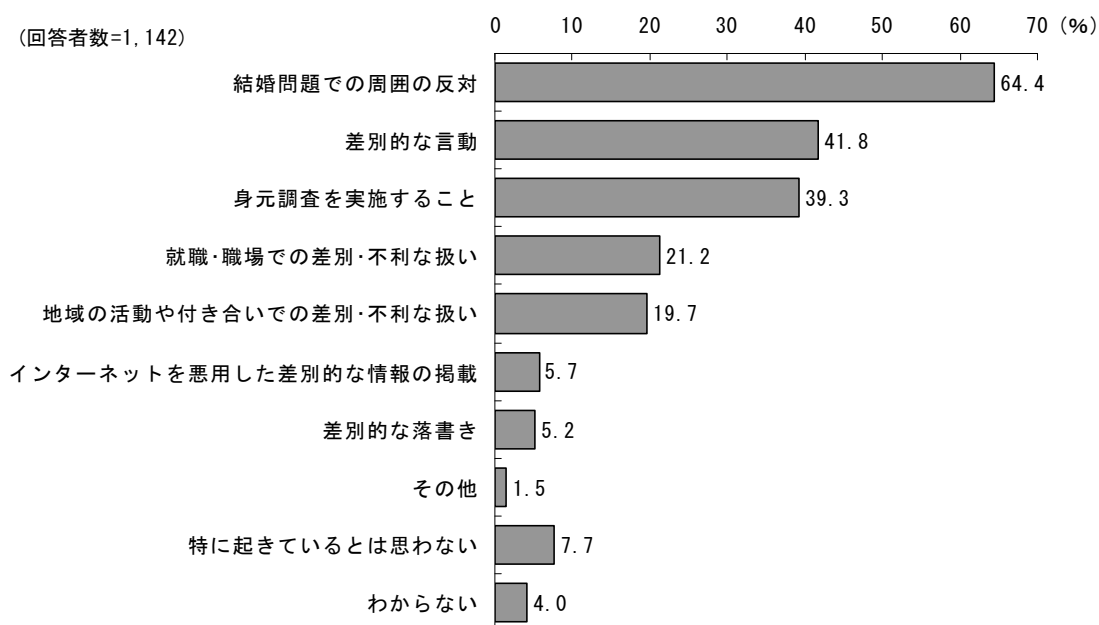
問 14 付問 2 同和問題に関して、あなたは、これまで、どのような差別を見聞きしたことがありますか。次の中から3つまで選んでください。

〔回答者数=1,142〕

1	結婚問題での周囲の反対	64.4%
2	差別的な言動	41.8%
3	身元調査を実施すること	39.3%
4	就職・職場での差別・不利な扱い	21.2%
5	地域の活動や付き合いでの差別・不利な扱い	19.7%
6	インターネットを悪用した差別的な情報の掲載	5.7%
7	差別的な落書き	5.2%
8	その他	1.5%
9	特に起きているとは思わない	7.7%
10	わからない	4.0%

これまでに見聞きした同和問題に関する差別については、「結婚問題での周囲の反対」が64.4%と6割を超え最も高く、次いで、「差別的な言動」が41.8%、「身元調査を実施すること」が39.3%、「就職・職場での差別・不利な扱い」が21.2%、「地域の活動や付き合いでの差別・不利な扱い」が19.7%などとなっている。

〈 これまでに見聞きした同和問題に関する差別 〉



(12) 同和問題を解決するために必要と思われること

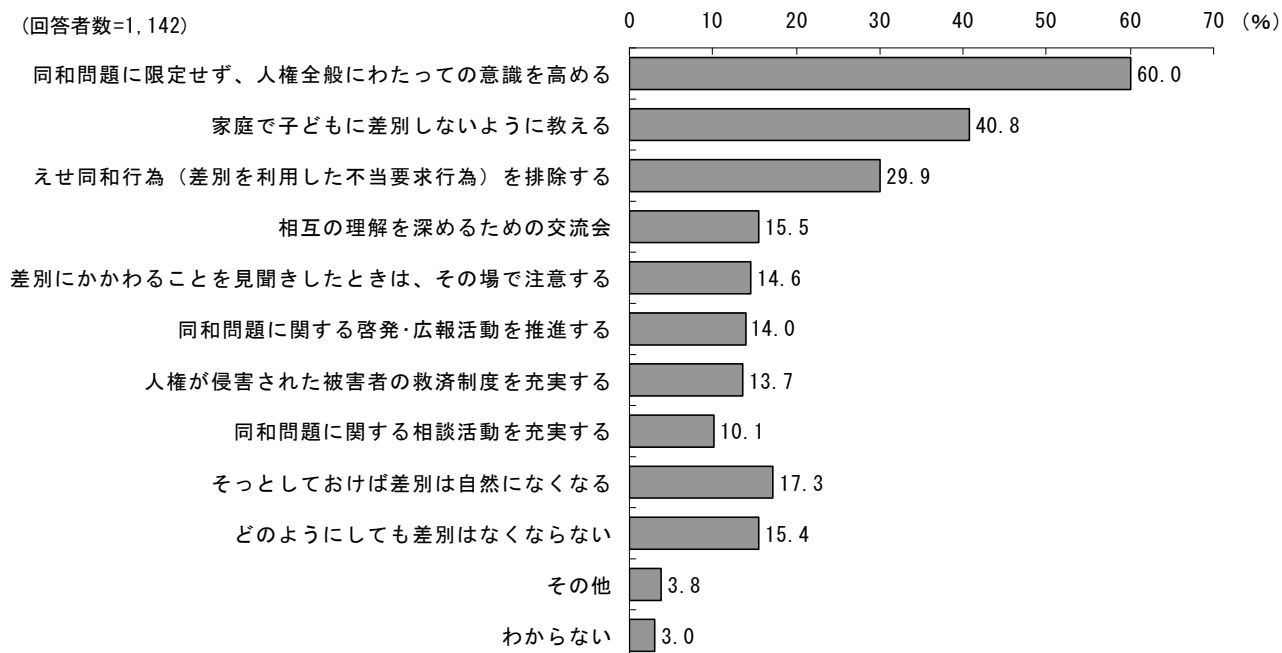
問 14 付問 3 同和問題を解決するために必要と思われることは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

〔回答者数=1,142〕

1 同和問題に限定せず、人権全般にわたっての意識を高める	60.0%
2 家庭で子どもに差別しないように教える	40.8%
3 えせ同和行為（差別を利用した不当要求行為）を排除する	29.9%
4 相互の理解を深めるための交流会	15.5%
5 差別にかかわることを見聞きしたときは、その場で注意する	14.6%
6 同和問題に関する啓発・広報活動を推進する	14.0%
7 人権が侵害された被害者の救済制度を充実する	13.7%
8 同和問題に関する相談活動を充実する	10.1%
9 そっとしておけば差別は自然になくなる	17.3%
10 どのようにしても差別はなくなる	15.4%
11 その他	3.8%
12 わからない	3.0%

同和問題を解決するために必要と思われることについては、「同和問題に限定せず、人権全般にわたっての意識を高める」が6割と最も高く、次いで、「家庭で子どもに差別しないように教える」が40.8%、「えせ同和行為（差別を利用した不当要求行為）を排除する」が29.9%、「そっとしておけば差別は自然になくなる」が17.3%、「相互の理解を深めるための交流会」が15.5%などとなっている。

〈 同和問題を解決するために必要と思われること 〉



(13) 過去1年間に、見聞きしたり参加したことがある人権にかかわる啓発

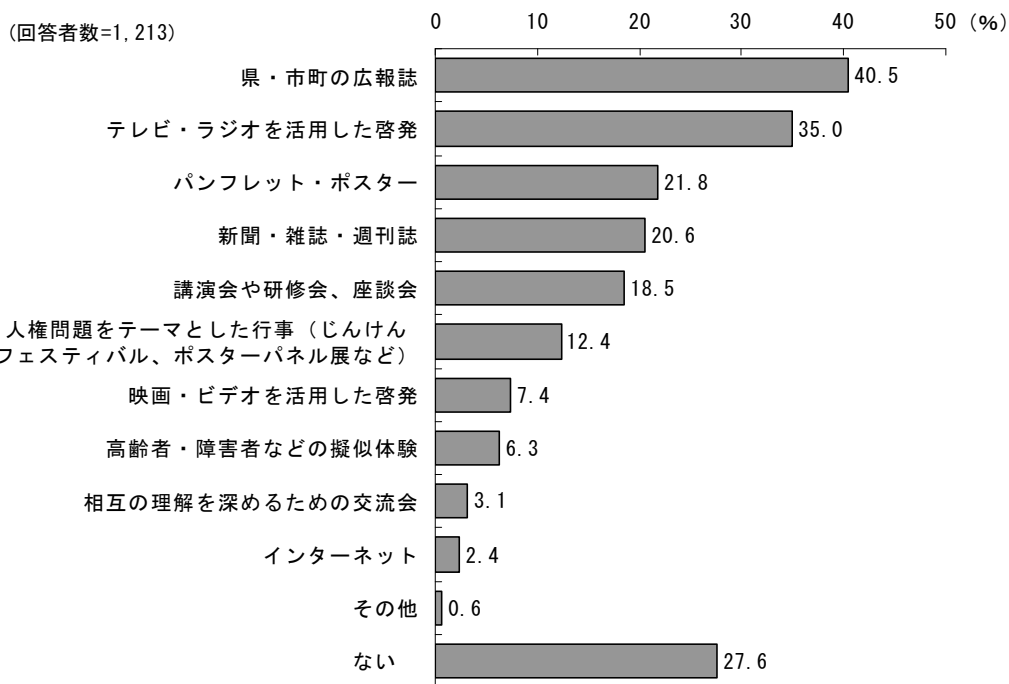
問 15 あなたは、過去1年間で、人権にかかわる啓発を見聞きしたり参加したことなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

[回答者数=1,213]

1 県・市町の広報誌	40.5%
2 テレビ・ラジオを活用した啓発	35.0%
3 パンフレット・ポスター	21.8%
4 新聞・雑誌・週刊誌	20.6%
5 講演会や研修会、座談会	18.5%
6 人権問題をテーマとした行事（じんけんフェスティバル、ポスターパネル展など）	12.4%
7 映画・ビデオを活用した啓発	7.4%
8 高齢者・障害者などの擬似体験	6.3%
9 相互の理解を深めるための交流会	3.1%
10 インターネット	2.4%
11 その他	0.6%
12 ない	27.6%

過去1年間に、見聞きしたり参加したことがある人権にかかわる啓発については、「県・市町の広報誌」が40.5%と4割を超え最も高く、「テレビ・ラジオを活用した啓発」が35.0%、「パンフレット・ポスター」が21.8%、「新聞・雑誌・週刊誌」が20.6%などとなっており、見聞きしたり参加したことが「ない」と回答した人は、27.6%と2割を超えている。

〈 過去1年間に、見聞きしたり参加したことがある人権にかかわる啓発 〉



(14) 人権にかかわる啓発を見聞きなどしての印象や感想

問 15 付問 1 人権にかかわる啓発を見聞きなどして、どのような印象や感想をもちましたか。次の中から1つだけ選んでください。







[回答者数=842]

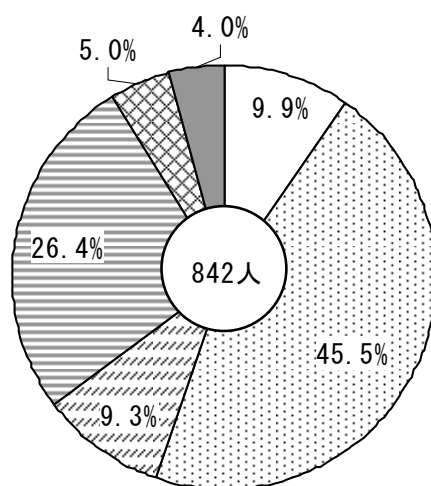
1 人権問題を解決するため自分も何かしたいと思った	9.9%
2 よく理解でき、人権の大切さがわかった	45.5%
3 理解できたが、自分には関係のないことだと思った	9.3%
4 このようなことをしても人権侵害はなくなると思った	26.4%
5 その他	5.0%
(無回答)	4.0%

人権にかかわる啓発を見聞きなどしての印象や感想については、45.5%と4割を超える人が「よく理解でき、人権の大切さがわかった」としており、「このようなことをしても人権侵害はなくなると思った」が26.4%、「人権問題を解決するため自分も何かしたいと思った」が9.9%、「理解できたが、自分には関係のないことだと思った」が9.3%などとなっている。

〈 人権にかかわる啓発を見聞きなどしての印象や感想 〉

凡例

	人権問題を解決するため自分も何かしたいと思った
	よく理解でき、人権の大切さがわかった
	理解できたが、自分には関係のないことだと思った
	このようなことをしても人権侵害はなくなると思った
	その他
	無回答



(15) 人権啓発を推進するために、効果的であると思う啓発広報活動

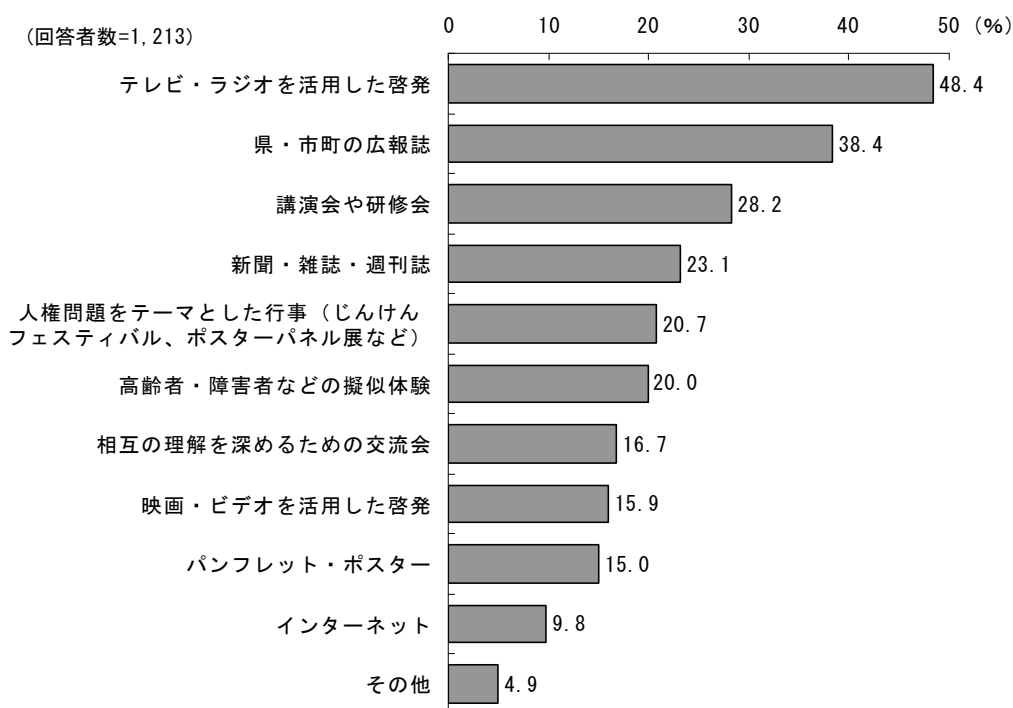
問 16 あなたは、人権啓発を推進するためには、県民に対してどのような啓発広報活動が効果的であると思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

〔回答者数=1,213〕

1	テレビ・ラジオを活用した啓発	48.4%
2	県・市町の広報誌	38.4%
3	講演会や研修会	28.2%
4	新聞・雑誌・週刊誌	23.1%
5	人権問題をテーマとした行事（じんけんフェスティバル、ポスターパネル展など）	20.7%
6	高齢者・障害者などの擬似体験	20.0%
7	相互の理解を深めるための交流会	16.7%
8	映画・ビデオを活用した啓発	15.9%
9	パンフレット・ポスター	15.0%
10	インターネット	9.8%
11	その他	4.9%

人権啓発を推進するために、効果的であると思う啓発広報活動については、「テレビ・ラジオを活用した啓発」が48.4%と半数近くを占め最も高く、これに「県・市町の広報誌」が38.4%、「講演会や研修会」が28.2%、「新聞・雑誌・週刊誌」が23.1%、「人権問題をテーマとした行事（じんけんフェスティバル、ポスターパネル展など）」が20.7%などで続いている。

〈 人権啓発を推進するために、効果的であると思う啓発広報活動 〉



3. 今後の行政のあり方について

(1) 「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことについて

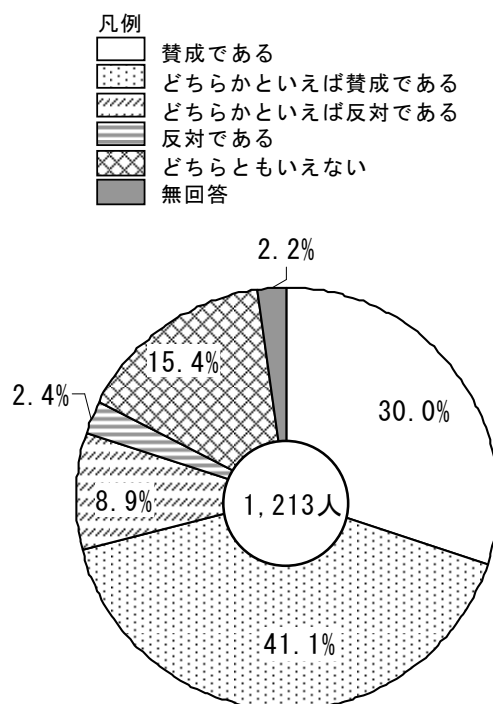
問 17 あなたは「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことについて、どのように考えますか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んでください。

〔回答者数=1,213〕

1 賛成である	30.0%
2 どちらかといえば賛成である	41.1%
3 どちらかといえば反対である	8.9%
4 反対である	2.4%
5 どちらともいえない	15.4%
(無回答)	2.2%

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことについては、「賛成である」は30.0%であるが、これに「どちらかといえば賛成である」を合わせると、【賛成】が71.1%と7割を超える。一方、「反対である」(2.4%)に、「どちらかといえば反対である」(8.9%)を合わせた【反対】の割合は11.3%となっている。

〈 「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことについて 〉



(2) 「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことに賛成である
と考える理由

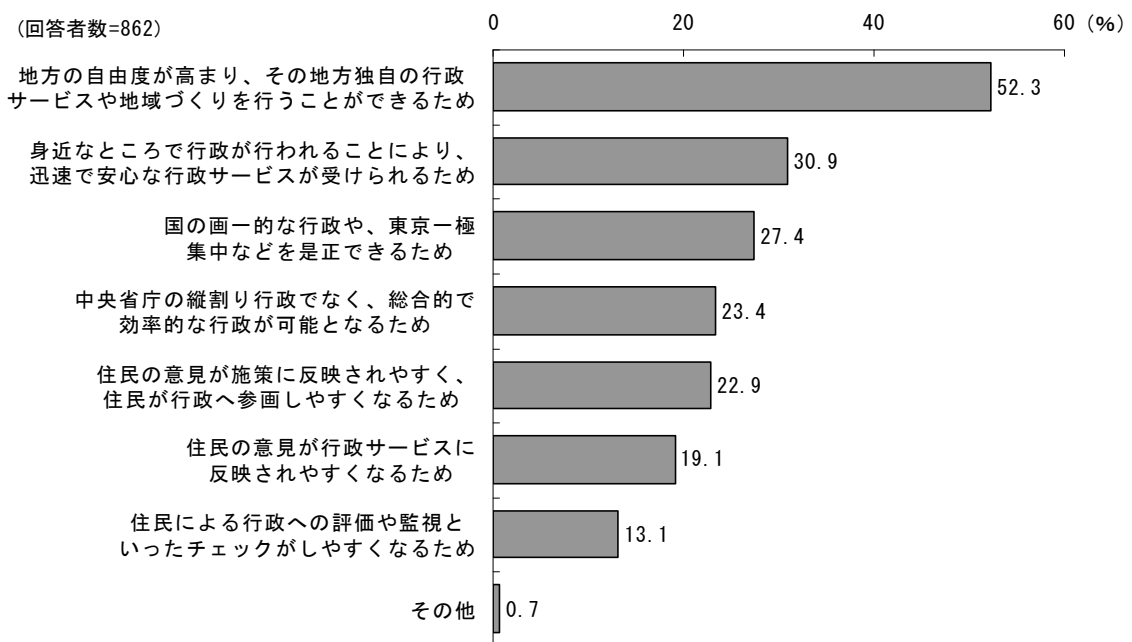
問 17 付問 1 (問 17 で「1 賛成である」または「2 どちらかといえば賛成である」と回答された方におたずねします。) 賛成であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

[回答者数=862]

1 地方の自由度が高まり、その地方独自の行政サービスや地域づくりを行うことができるため	52.3%
2 身近なところで行政が行われることにより、迅速で安心な行政サービスが受けられるため	30.9%
3 国の画一的な行政や、東京一極集中などを是正できるため	27.4%
4 中央省庁の縦割り行政でなく、総合的で効率的な行政が可能となるため	23.4%
5 住民の意見が施策に反映されやすく、住民が行政へ参画しやすくなるため	22.9%
6 住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるため	19.1%
7 住民による行政への評価や監視といったチェックがしやすくなるため	13.1%
8 その他	0.7%

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことに賛成であると考えられる理由については、「地方の自由度が高まり、その地方独自の行政サービスや地域づくりを行うことができるため」が 52.3%と半数を超え最も高く、次いで、「身近なところで行政が行われることにより、迅速で安心な行政サービスが受けられるため」が 30.9%、「国の画一的な行政や、東京一極集中などを是正できるため」が 27.4%、「中央省庁の縦割り行政でなく、総合的で効率的な行政が可能となるため」が 23.4%などとなっている。

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や
税財源を移すことに賛成であると考えられる理由



(3) 「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことに反対である
と考える理由

問 17 付問 2 (問 17 で「3 どちらかといえば反対である」または「4 反対である」と
回答された方におたずねします。) 反対であるとお考えになる理由は何ですか。
あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

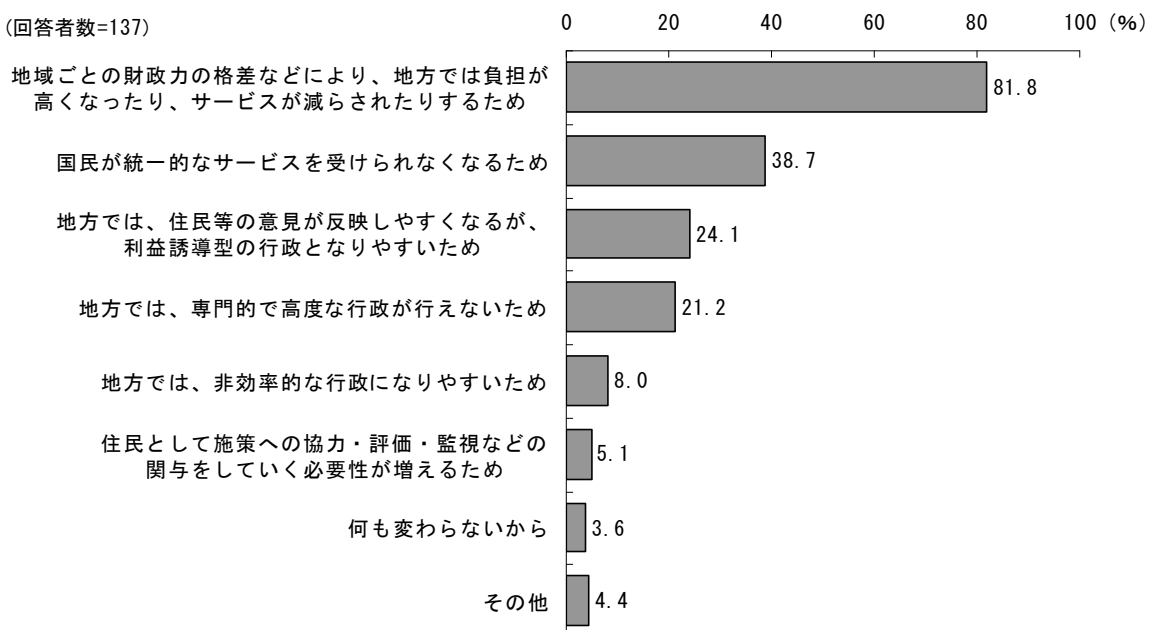
〔回答者数=137〕

1 地域ごとの財政力の格差などにより、地方では負担が高くなったり、 サービスが減らされたりするため	81.8%
2 国民が統一的なサービスを受けられなくなるため	38.7%
3 地方では、住民等の意見が反映しやすくなるが、利益誘導型の行政と なりやすいため	24.1%
4 地方では、専門的で高度な行政が行えないため	21.2%
5 地方では、非効率的な行政になりやすいため	8.0%
6 住民として施策への協力・評価・監視などの関与をしていく必要性が 増えるため	5.1%
7 何も変わらないから	3.6%
8 その他	4.4%

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や税財源を移すことに反対であると
考える理由については、「地域ごとの財政力の格差などにより、地方では負担が高くなったり、サ
ービスが減らされたりするため」が81.8%と8割を超え最も高く、これに「国民が統一的なサー
ビスを受けられなくなるため」が38.7%、「地方では、住民等の意見が反映しやすくなるが、利
益誘導型の行政となりやすいため」が24.1%、「地方では、専門的で高度な行政が行えないため」
が21.2%で続いている。

「地方分権」により、国から地方(県・市町)へ事務の権限や
税財源を移すことに反対であるとする理由

(回答者数=137)



(4) 道州制について

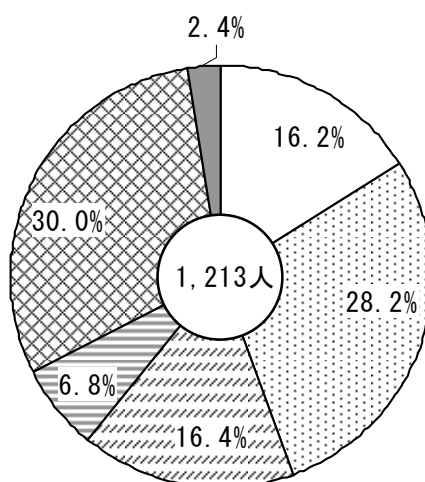
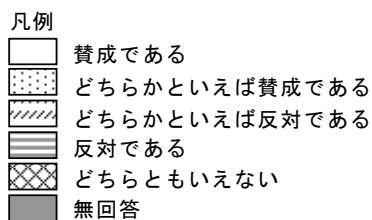
問 18 あなたは、道州制についてどう考えますか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んでください。

[回答者数=1,213]

1 賛成である	16.2%
2 どちらかといえば賛成である	28.2%
3 どちらかといえば反対である	16.4%
4 反対である	6.8%
5 どちらともいえない	30.0%
(無回答)	2.4%

道州制については、「どちらともいえない」が30.0%と最も高い割合となっている。次いで、「どちらかといえば賛成である」が28.2%で、これに「賛成である」(16.2%)を合わせると、【賛成】が44.4%と4割を超え、「反対である」(6.8%)と「どちらかといえば反対である」(16.4%)を合わせた【反対】は23.2%となっている。

〈 道州制について 〉



(5) 道州制について、賛成であるとする理由

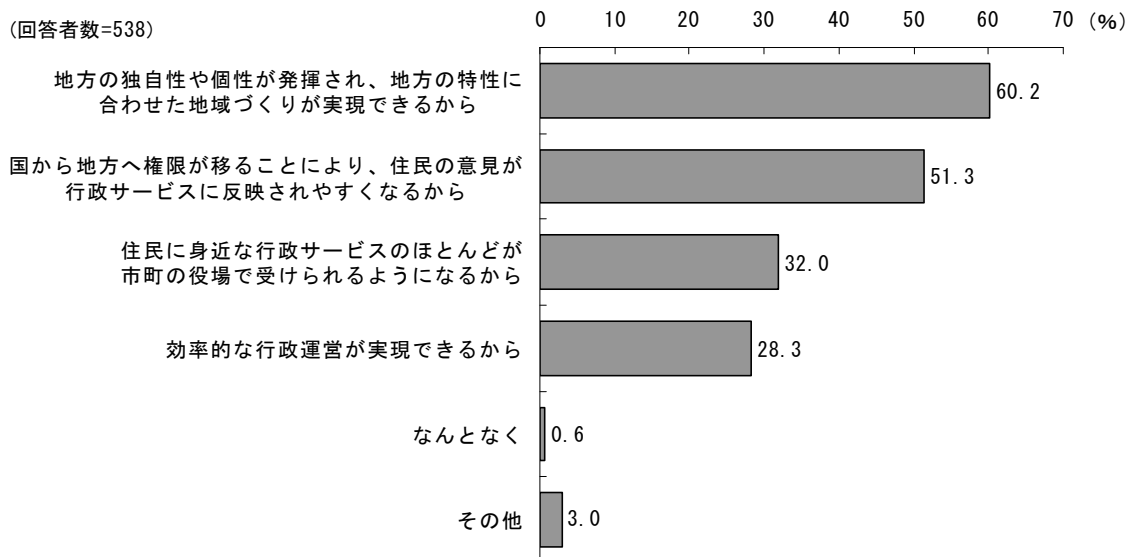
問 18 付問 1 (問 18 で「1 賛成である」または「2 どちらかといえば賛成である」と回答された方におたずねします。) 賛成であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

[回答者数=538]

1	地方の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりが実現できるから	60.2%
2	国から地方へ権限が移ることにより、住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから	51.3%
3	住民に身近な行政サービスのほとんどが市町の役場で受けられるようになるから	32.0%
4	効率的な行政運営が実現できるから	28.3%
5	なんとなく	0.6%
6	その他	3.0%

道州制について、賛成であるとする理由をみると、「地方の独自性や個性が発揮され、地方の特性に合わせた地域づくりが実現できるから」が 60.2%と6割を超え最も高く、次いで、「国から地方へ権限が移ることにより、住民の意見が行政サービスに反映されやすくなるから」が 51.3%、「住民に身近な行政サービスのほとんどが市町の役場で受けられるようになるから」が 32.0%などとなっている。

〈 道州制について、賛成であるとする理由 〉



(6) 道州制について、反対であるとする理由

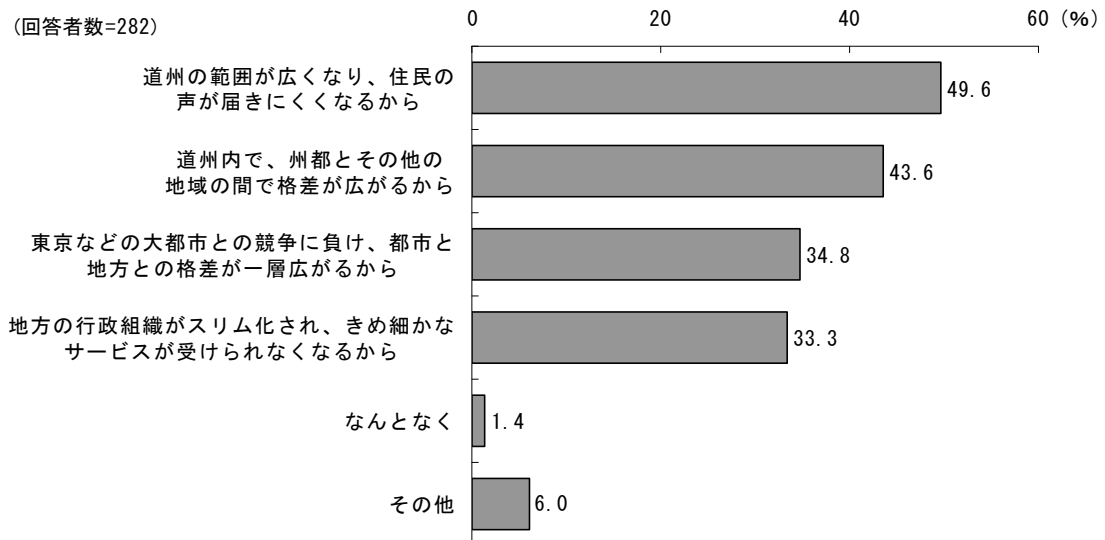
問 18 付問 2 (問 18 で「3 どちらかといえば反対である」または「4 反対である」と回答された方におたずねします。) 反対であるとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

[回答者数=282]

1 道州の範囲が広くなり、住民の声が届きにくくなるから	49.6%
2 道州内で、州都とその他の地域の間で格差が広がるから	43.6%
3 東京などの大都市との競争に負け、都市と地方との格差が一層広がるから	34.8%
4 地方の行政組織がスリム化され、きめ細かなサービスが受けられなくなるから	33.3%
5 なんとなく	1.4%
6 その他	6.0%

道州制について、反対であるとする理由をみると、「道州の範囲が広くなり、住民の声が届きにくくなるから」が 49.6%と半数近くを占め最も高く、次いで、「道州内で、州都とその他の地域の間で格差が広がるから」が 43.6%、「東京などの大都市との競争に負け、都市と地方との格差が一層広がるから」が 34.8%などとなっている。

〈 道州制について、反対であるとする理由 〉



(7) 道州制について、どちらともいえないと考える理由

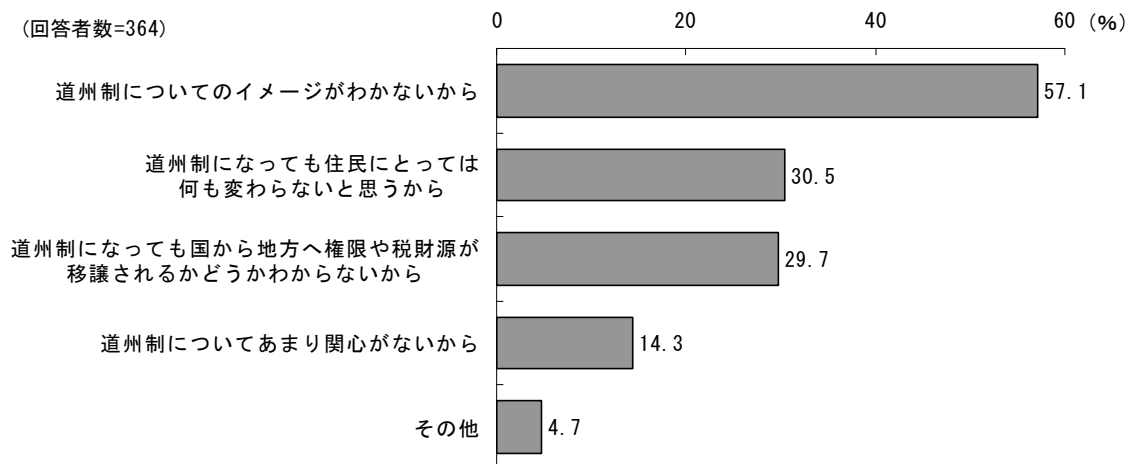
問 18 付問 3 (問 18 で「5 どちらともいえない」と回答された方におたずねします。) どちらともいえないとお考えになる理由は何ですか。あなたの考えに近いものを2つまで選んでください。

[回答者数=364]

1 道州制についてのイメージがわからないから	57.1%
2 道州制になっても住民にとっては何も変わらないと思うから	30.5%
3 道州制になっても国から地方へ権限や税財源が移譲されるかどうか わからないから	29.7%
4 道州制についてあまり関心がないから	14.3%
5 その他	4.7%

道州制について、どちらともいえないと考える理由をみると、「道州制についてのイメージがわからないから」が 57.1%と6割近くを占め最も高く、次いで、「道州制になっても住民にとっては何も変わらないと思うから」が 30.5%、「道州制になっても国から地方へ権限や税財源が移譲されるかどうかわからないから」が 29.7%などとなっている。

〈 道州制について、どちらともいえないと考える理由 〉



(8) 道州制になる場合に、よいと思う区域割り

問 19 道州の区域割りについておたずねします。もし道州制になるとすれば、現在の香川県を含む州はどのような区域がよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

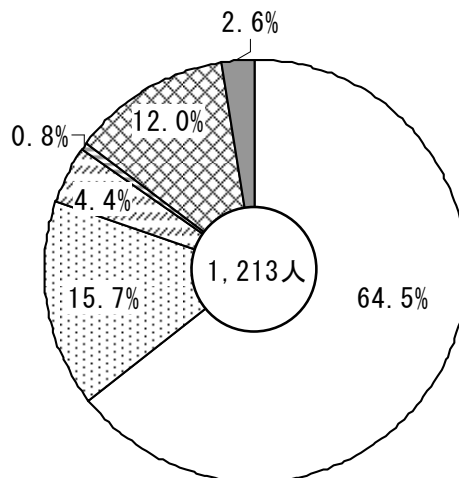
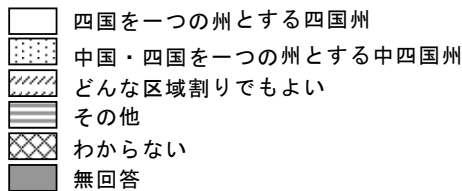
〔回答者数=1,213〕

1	四国を一つの州とする四国州	64.5%
2	中国・四国を一つの州とする中四国州	15.7%
3	どんな区域割りでもよい	4.4%
4	その他	0.8%
5	わからない	12.0%
	(無回答)	2.6%

道州制になる場合に、よいと思う区域割りについては、「四国を一つの州とする四国州」が64.5%と6割を超え最も高く、「中国・四国を一つの州とする中四国州」が15.7%、「わからない」が12.0%、「どんな区域割りでもよい」が4.4%などとなっている。

〈 道州制になる場合に、よいと思う区域割り 〉

凡例



4. 県政の重要度と満足度について

(1) 安全で快適な生活空間（重要度）

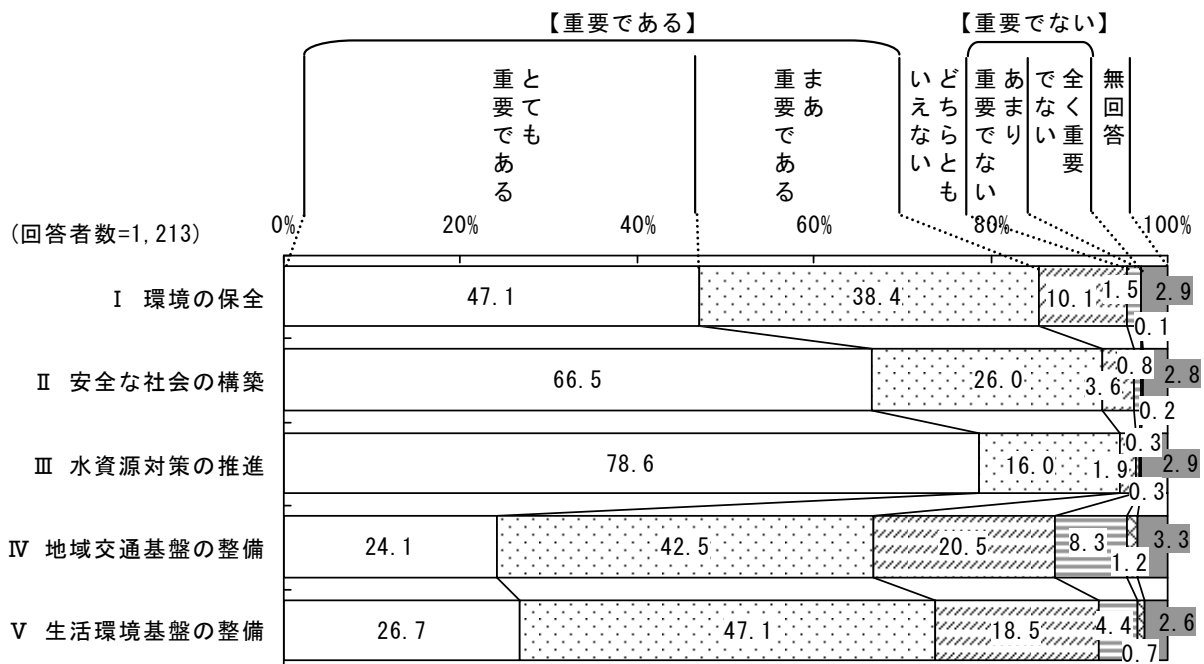
問 20 「安全で快適な生活空間」についておたずねします。Ⅰ～Ⅴの各施策についてあなたの<重要度>を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	重要度					
	① とても重要である	② まあ重要である	③ どちらともいえない	④ あまり重要でない	⑤ 全く重要でない	無回答
[回答者数=1,213]						
Ⅰ 環境の保全	47.1	38.4	10.1	1.5	0.1	2.9
Ⅱ 安全な社会の構築	66.5	26.0	3.6	0.8	0.2	2.8
Ⅲ 水資源対策の推進	78.6	16.0	1.9	0.3	0.3	2.9
Ⅳ 地域交通基盤の整備	24.1	42.5	20.5	8.3	1.2	3.3
Ⅴ 生活環境基盤の整備	26.7	47.1	18.5	4.4	0.7	2.6

「安全で快適な生活空間」について重要度をみると、どの施策項目でも「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】という人が6割を超えており、なかでも『水資源対策の推進』は94.6%、『安全な社会の構築』は92.5%と9割を超え、『環境の保全』についても85.5%と8割を超えている。

〈安全で快適な生活空間(重要度)〉



(2) 安全で快適な生活空間 (満足度)

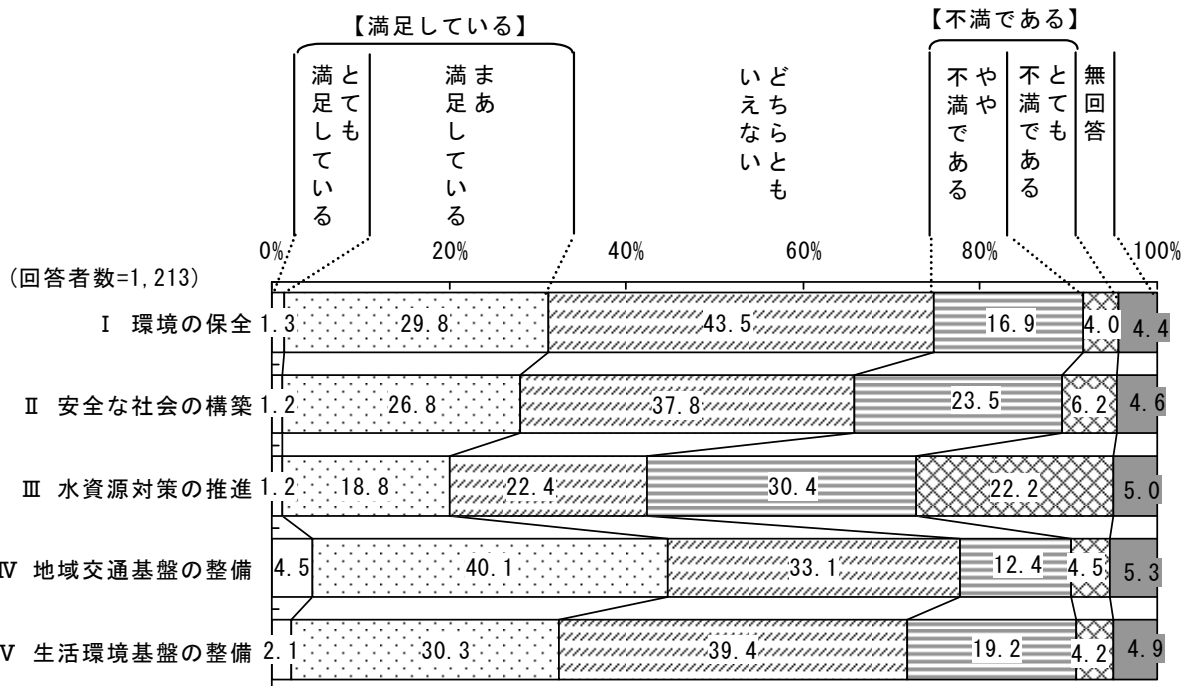
問 20 「安全で快適な生活空間」についておたずねします。I～Vの各施策についてあなたの〈満足度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	満足度					
	① とても満足している	② まあ満足している	③ どちらともいえない	④ やや不満である	⑤ とても不満である	無回答
[回答者数=1,213]						
I 環境の保全	1.3	29.8	43.5	16.9	4.0	4.4
II 安全な社会の構築	1.2	26.8	37.8	23.5	6.2	4.6
III 水資源対策の推進	1.2	18.8	22.4	30.4	22.2	5.0
IV 地域交通基盤の整備	4.5	40.1	33.1	12.4	4.5	5.3
V 生活環境基盤の整備	2.1	30.3	39.4	19.2	4.2	4.9

「安全で快適な生活空間」について満足度をみると、『環境の保全』、『地域交通基盤の整備』、『生活環境基盤の整備』については、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】という人が、「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた【不満である】を上回っている。『安全な社会の構築』、『水資源対策の推進』については、【不満である】が【満足している】を上回り、なかでも『水資源対策の推進』では【不満である】が52.6%と、他の項目に比べ高くなっている。

〈安全で快適な生活空間(満足度)〉



(3) ささえあい、安心して暮らせる社会（重要度）

問 21 「ささえあい、安心して暮らせる社会」についておたずねします。Ⅰ～Ⅷの各施策についてあなたの〈重要度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

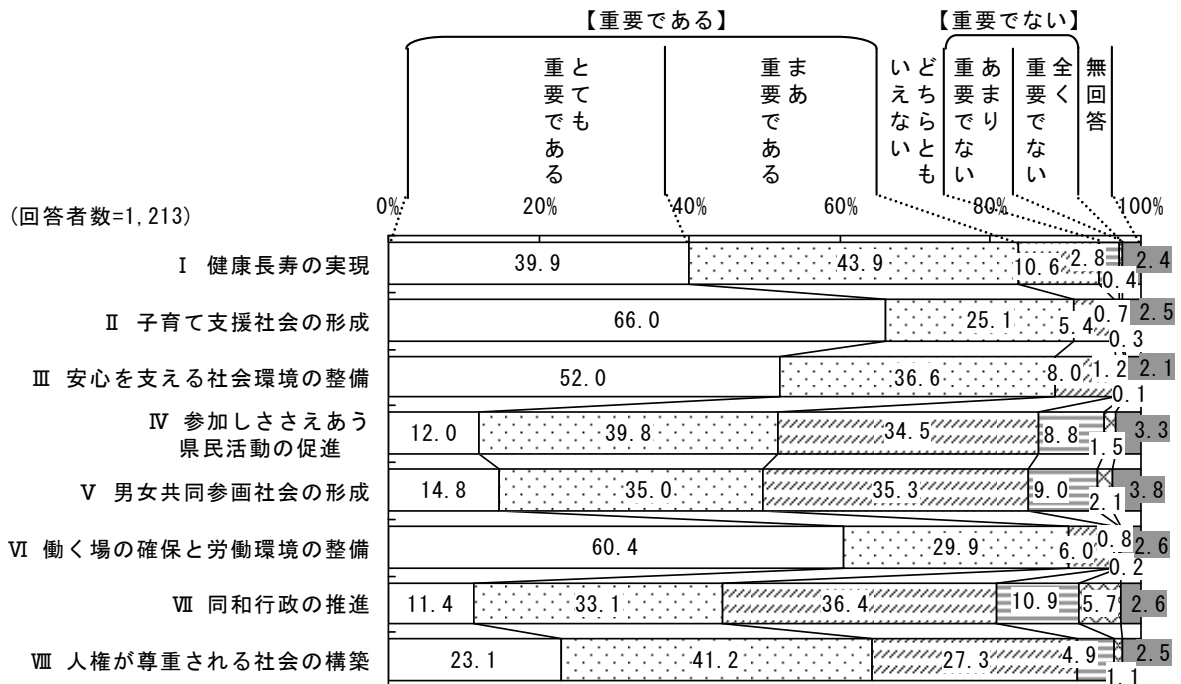
(単位：%)

	重要度					無回答
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	
Ⅰ 健康長寿の実現	39.9	43.9	10.6	2.8	0.4	2.4
Ⅱ 子育て支援社会の形成	66.0	25.1	5.4	0.7	0.3	2.5
Ⅲ 安心を支える社会環境の整備	52.0	36.6	8.0	1.2	0.1	2.1
Ⅳ 参加しさえあう県民活動の促進	12.0	39.8	34.5	8.8	1.5	3.3
Ⅴ 男女共同参画社会の形成	14.8	35.0	35.3	9.0	2.1	3.8
Ⅵ 働く場の確保と労働環境の整備	60.4	29.9	6.0	0.8	0.2	2.6
Ⅶ 同和行政の推進	11.4	33.1	36.4	10.9	5.7	2.6
Ⅷ 人権が尊重される社会の構築	23.1	41.2	27.3	4.9	1.1	2.5

[回答者数=1,213]

「ささえあい、安心して暮らせる社会」について重要度をみると、ほとんどの施策項目で【重要である】という人が半数を超えており、なかでも『子育て支援社会の形成』は91.1%、『働く場の確保と労働環境の整備』は90.3%、『安心を支える社会環境の整備』は88.6%、『健康長寿の実現』は83.8%と8割以上を占めている。

〈 ささえあい、安心して暮らせる社会(重要度) 〉



(4) ささえあい、安心して暮らせる社会（満足度）

問 21 「ささえあい、安心して暮らせる社会」についておたずねします。Ⅰ～Ⅷの各施策についてあなたの〈満足度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

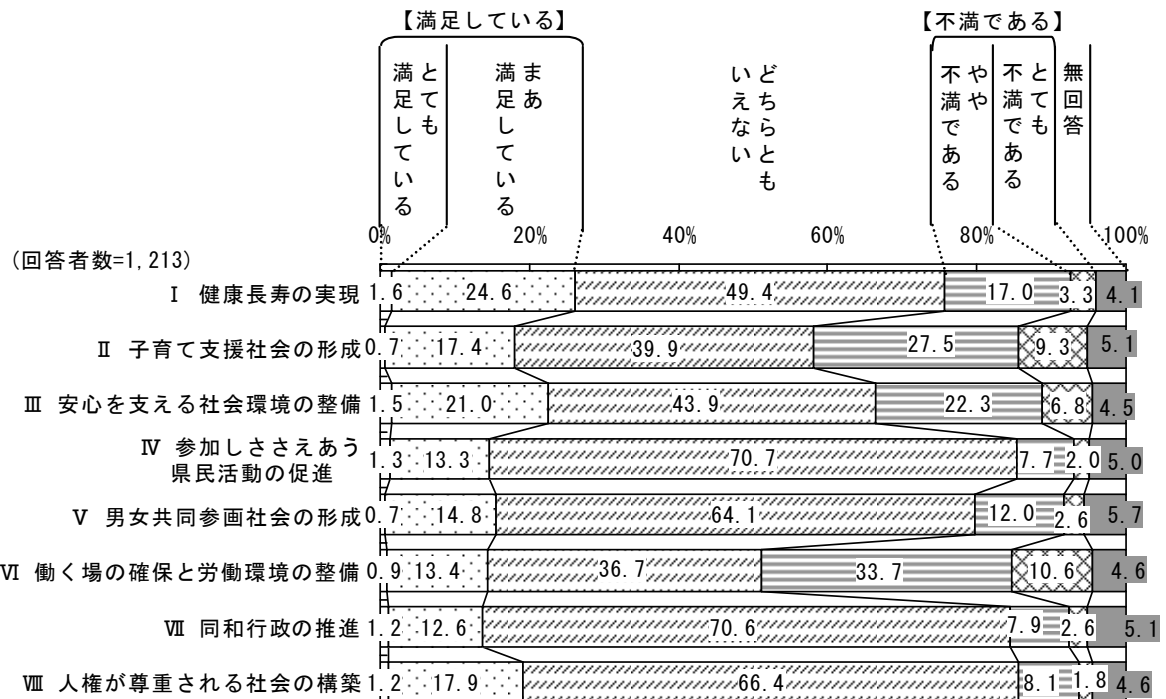
(単位：%)

	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
Ⅰ 健康長寿の実現	1.6	24.6	49.4	17.0	3.3	4.1
Ⅱ 子育て支援社会の形成	0.7	17.4	39.9	27.5	9.3	5.1
Ⅲ 安心を支える社会環境の整備	1.5	21.0	43.9	22.3	6.8	4.5
Ⅳ 参加しさえあう県民活動の促進	1.3	13.3	70.7	7.7	2.0	5.0
Ⅴ 男女共同参画社会の形成	0.7	14.8	64.1	12.0	2.6	5.7
Ⅵ 働く場の確保と労働環境の整備	0.9	13.4	36.7	33.7	10.6	4.6
Ⅶ 同和行政の推進	1.2	12.6	70.6	7.9	2.6	5.1
Ⅷ 人権が尊重される社会の構築	1.2	17.9	66.4	8.1	1.8	4.6

[回答者数=1,213]

「ささえあい、安心して暮らせる社会」について満足度をみると、『働く場の確保と労働環境の整備』、『子育て支援社会の形成』、『安心を支える社会環境の整備』については、【不満である】という人が、【満足している】という人を上回っている。なかでも『働く場の確保と労働環境の整備』では【不満である】が44.3%、『子育て支援社会の形成』では【不満である】が36.8%と高くなっている。

〈 ささえあい、安心して暮らせる社会(満足度) 〉



(5) きらめく個性、豊かな心(重要度)

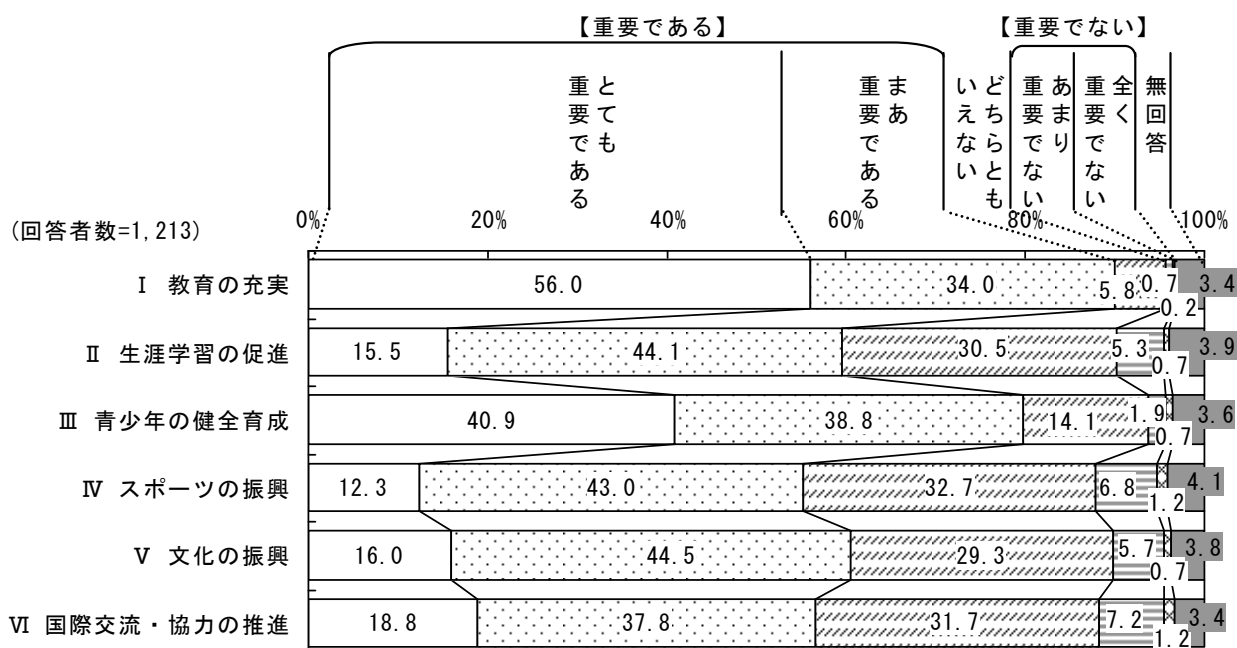
問 22 「きらめく個性、豊かな心」についておたずねします。I～VIの各施策についてあなたの<重要度>を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	重要度					
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
[回答者数=1,213]						
I 教育の充実	56.0	34.0	5.8	0.7	0.2	3.4
II 生涯学習の促進	15.5	44.1	30.5	5.3	0.7	3.9
III 青少年の健全育成	40.9	38.8	14.1	1.9	0.7	3.6
IV スポーツの振興	12.3	43.0	32.7	6.8	1.2	4.1
V 文化の振興	16.0	44.5	29.3	5.7	0.7	3.8
VI 国際交流・協力の推進	18.8	37.8	31.7	7.2	1.2	3.4

「きらめく個性、豊かな心」について重要度をみると、どの施策項目でも【重要である】という人が半数を超えており、なかでも『教育の充実』は90.0%、『青少年の健全育成』は79.7%と、他の施策項目に比べ高い割合となっている。

< きらめく個性、豊かな心(重要度) >



(6) きらめく個性、豊かな心(満足度)

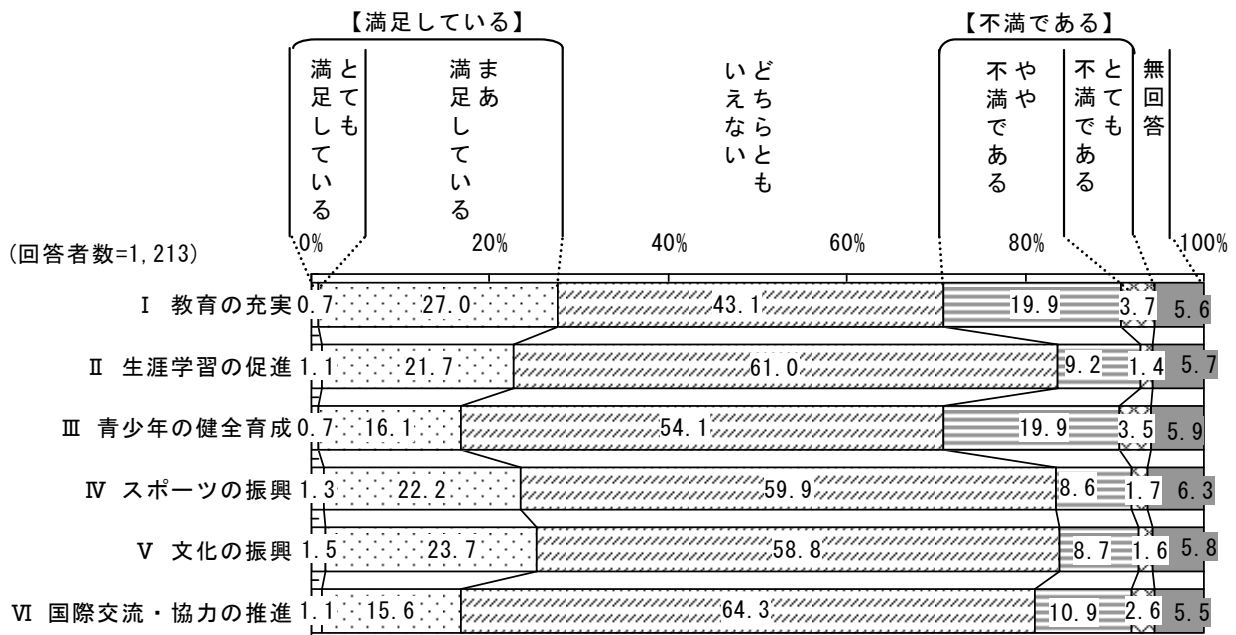
問 22 「きらめく個性、豊かな心」についておたずねします。I～VIの各施策についてあなたの<満足度>を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	満足度					
	① とても満足している	② まあ満足している	③ どちらともいえない	④ やや不満である	⑤ とても不満である	無回答
[回答者数=1,213]						
I 教育の充実	0.7	27.0	43.1	19.9	3.7	5.6
II 生涯学習の促進	1.1	21.7	61.0	9.2	1.4	5.7
III 青少年の健全育成	0.7	16.1	54.1	19.9	3.5	5.9
IV スポーツの振興	1.3	22.2	59.9	8.6	1.7	6.3
V 文化の振興	1.5	23.7	58.8	8.7	1.6	5.8
VI 国際交流・協力の推進	1.1	15.6	64.3	10.9	2.6	5.5

「きらめく個性、豊かな心」について満足度をみると、『青少年の健全育成』以外の施策項目については、【満足している】という人が【不満である】という人を上回っている。また、『教育の充実』、『青少年の健全育成』については、【不満である】という人が2割を超えている。

< きらめく個性、豊かな心(満足度) >



(7) 創造性と活力あふれる地域 (重要度)

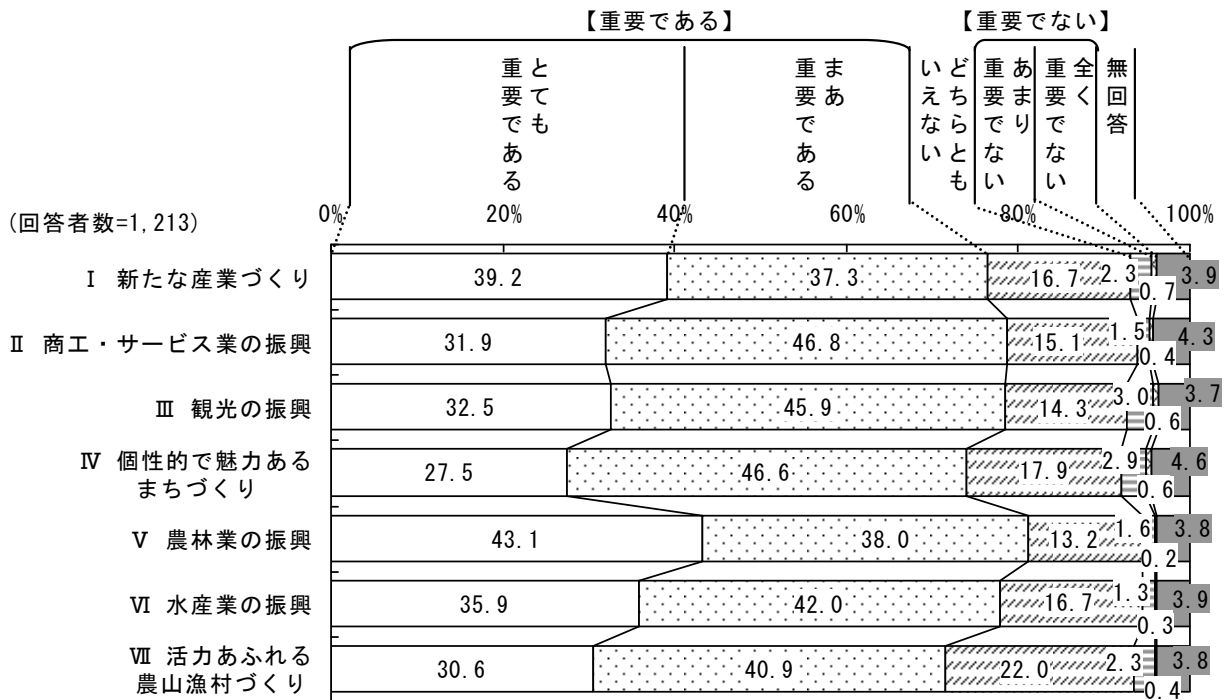
問 23 「創造性と活力あふれる地域」についておたずねします。I～VIIの各施策についてあなたの〈重要度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	重要度					
	① とても 重要である	② まあ 重要である	③ どちらとも いえない	④ あまり 重要でない	⑤ 全く 重要でない	無 回 答
[回答者数=1,213]						
I 新たな産業づくり	39.2	37.3	16.7	2.3	0.7	3.9
II 商工・サービス業の振興	31.9	46.8	15.1	1.5	0.4	4.3
III 観光の振興	32.5	45.9	14.3	3.0	0.6	3.7
IV 個性的で魅力あるまちづくり	27.5	46.6	17.9	2.9	0.6	4.6
V 農林業の振興	43.1	38.0	13.2	1.6	0.2	3.8
VI 水産業の振興	35.9	42.0	16.7	1.3	0.3	3.9
VII 活力あふれる農山漁村づくり	30.6	40.9	22.0	2.3	0.4	3.8

「創造性と活力あふれる地域」について重要度をみると、どの施策項目でも【重要である】という人が7割を超えており、なかでも『農林業の振興』については、【重要である】が81.1%と高くなっている。

〈 創造性と活力あふれる地域(重要度) 〉



(8) 創造性と活力あふれる地域 (満足度)

問 23 「創造性と活力あふれる地域」についておたずねします。Ⅰ～Ⅶの各施策についてあなたの〈満足度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

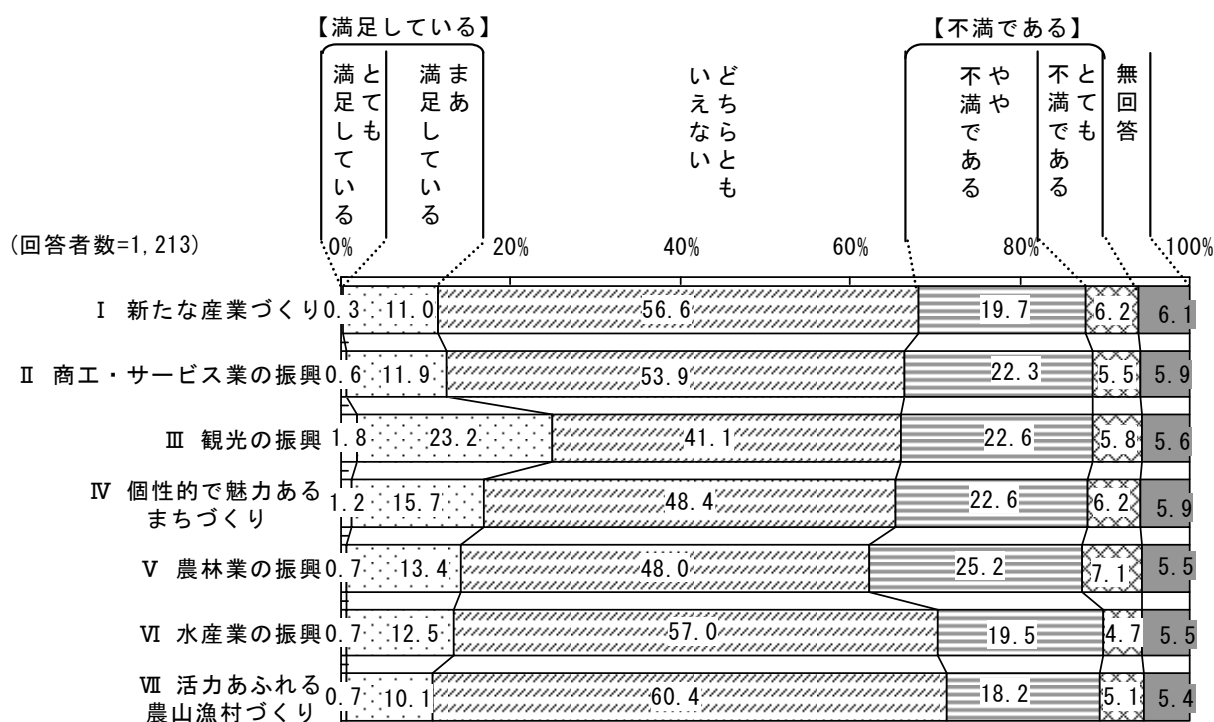
(単位：%)

	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
Ⅰ 新たな産業づくり	0.3	11.0	56.6	19.7	6.2	6.1
Ⅱ 商工・サービス業の振興	0.6	11.9	53.9	22.3	5.5	5.9
Ⅲ 観光の振興	1.8	23.2	41.1	22.6	5.8	5.6
Ⅳ 個性的で魅力あるまちづくり	1.2	15.7	48.4	22.6	6.2	5.9
Ⅴ 農林業の振興	0.7	13.4	48.0	25.2	7.1	5.5
Ⅵ 水産業の振興	0.7	12.5	57.0	19.5	4.7	5.5
Ⅶ 活力あふれる農山漁村づくり	0.7	10.1	60.4	18.2	5.1	5.4

〔回答者数=1,213〕

「創造性と活力あふれる地域」について満足度をみると、すべての施策項目で【不満である】という人が【満足している】という人を上回っている。なかでも『農林業の振興』では【不満である】が32.3%と高くなっている。

〈 創造性と活力あふれる地域(満足度) 〉



(9) 新時代の基盤 (重要度)

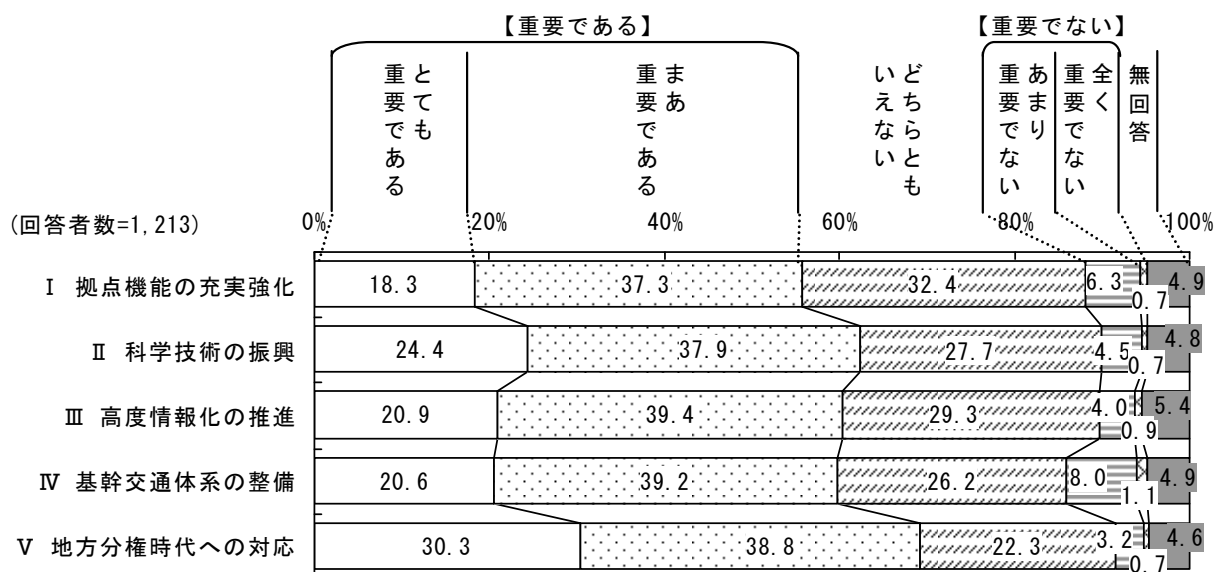
問 24 「新時代の基盤」についておたずねします。I～Vの各施策についてあなたの〈重要度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	重要度					
	① とても重要である	② まあ重要である	③ どちらともいえない	④ あまり重要でない	⑤ 全く重要でない	無回答
[回答者数=1,213]						
I 拠点機能の充実強化	18.3	37.3	32.4	6.3	0.7	4.9
II 科学技術の振興	24.4	37.9	27.7	4.5	0.7	4.8
III 高度情報化の推進	20.9	39.4	29.3	4.0	0.9	5.4
IV 基幹交通体系の整備	20.6	39.2	26.2	8.0	1.1	4.9
V 地方分権時代への対応	30.3	38.8	22.3	3.2	0.7	4.6

「新時代の基盤」について重要度をみると、どの施策項目でも【重要である】という人が半数を超えており、『科学技術の振興』、『高度情報化の推進』及び『地方分権時代への対応』については6割を超えている。

〈 新時代の基盤(重要度) 〉



(10) 新時代の基盤（満足度）

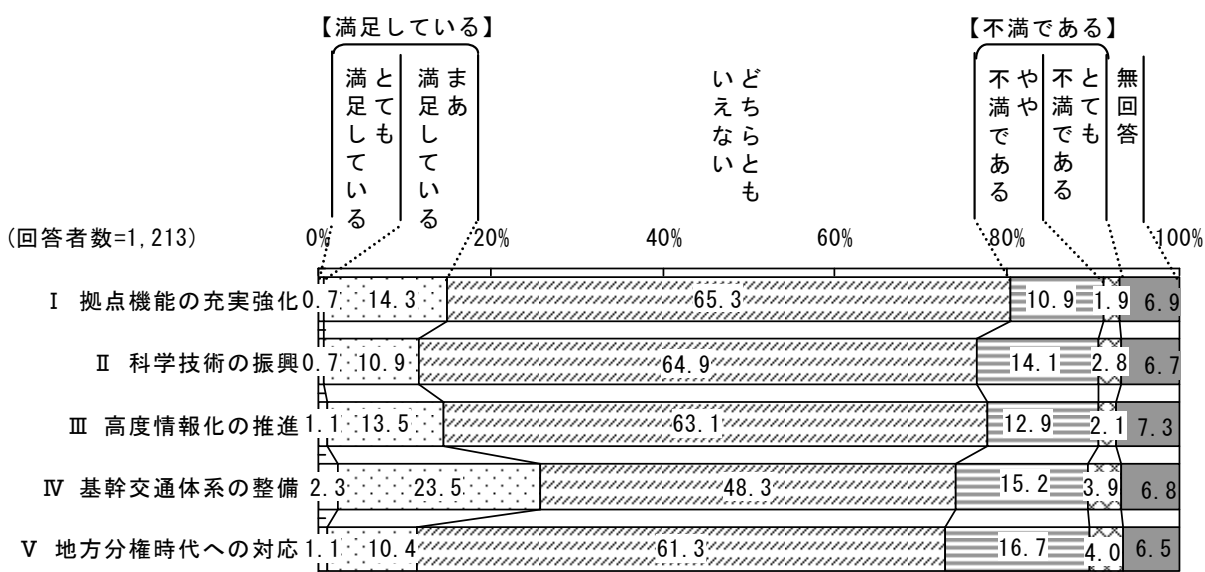
問 24 「新時代の基盤」についておたずねします。Ⅰ～Ⅴの各施策についてあなたの〈満足度〉を、1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

(単位：%)

	満足度					
	① とても満足している	② まあ満足している	③ どちらともいえない	④ やや不満である	⑤ とても不満である	無回答
〔回答者数=1,213〕						
Ⅰ 拠点機能の充実強化	0.7	14.3	65.3	10.9	1.9	6.9
Ⅱ 科学技術の振興	0.7	10.9	64.9	14.1	2.8	6.7
Ⅲ 高度情報化の推進	1.1	13.5	63.1	12.9	2.1	7.3
Ⅳ 基幹交通体系の整備	2.3	23.5	48.3	15.2	3.9	6.8
Ⅴ 地方分権時代への対応	1.1	10.4	61.3	16.7	4.0	6.5

「新時代の基盤」について満足度をみると、『拠点機能の充実強化』と『基幹交通体系の整備』については、【満足している】という人が、【不満である】という人を上回っている。『科学技術の振興』、『高度情報化の推進』及び『地方分権時代への対応』については、【不満である】という人が【満足している】という人を上回っている。

〈 新時代の基盤（満足度） 〉



調査報告書（概要版）

平成 21 年度 県政世論調査

香 川 県